

「令和5年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」
確定版



令和6年7月

伊勢湾再生推進会議

目次

1. はじめに	1
2. 「令和5年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要	2
2.1 一斉モニタリング期間	2
2.2 一斉モニタリングの種類	3
2.3 一斉モニタリング参加者	3
2.4 水質調査地点	5
3. 代表的な一斉モニタリングの実施状況	7
3.1 学校の皆さんの一斉モニタリング	8
3.2 団体・NPO 法人・個人の皆さんの一斉モニタリング	10
3.3 企業の皆さんの一斉モニタリング	42
3.4 行政機関の一斉モニタリング	47
4. 一斉モニタリング調査結果	51
4.1 分析による水質調査	51
4.2 簡易水質テスト結果	60
4.3 アンケート結果の経年変化	68
5. 参考資料1 一斉モニタリング期間気象・海象状況	81
6. 参考資料2 定点モニタリングの結果	87

1. はじめに

本年度も多くの方々に「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」にご協力頂きまして、ありがとうございました。

伊勢湾再生推進会議では、「人と森・川・海の連携により健全で活力ある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ことをスローガンとした伊勢湾再生行動計画に基づき、伊勢湾再生に取り組んでいます。

伊勢湾流域圏においては、より良い水環境のもと、多様な生物が生息・生育できる“健全な伊勢湾”、産業物流拠点としての優れた機能を活かしながら、人々が集まり、安全で憩いや安らぎを感じられる“活力ある伊勢湾”を再生するため、沿岸域だけでなく、広く流域圏の“人と森・川・海”が連携して伊勢湾再生に取り組んでいくとともに、これらの取組みを継承していくことが大切だと考えています。

この度は、その一環として、皆様と流域圏の自治体などが、海の水質が悪くなりやすい夏の時期に一斉モニタリングを行いました。一斉モニタリングにより、伊勢湾流域圏全体の水環境を知ることができます。

この「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」を通じて、市民の皆様にも、伊勢湾にもっと関心を持っていただき、伊勢湾再生のさらなる推進につなげてまいりたいと思います。

今回は確定版として分析による水質調査、簡易水質テストによる調査、ごみ調査、水生生物調査の結果についてとりまとめました。



図 1-1 伊勢湾流域圏

注) 伊勢湾流域圏とは、伊勢湾と伊勢湾に流れ込む河川の集水域となっている地域のことです。

(上の図の水色および緑色で示した部分)

- ・伊勢湾再生推進会議構成団体：国土交通省中部地方整備局・海上保安庁第四管区海上保安本部・内閣府地方創生推進事務局・農林水産省東海農政局・林野庁中部森林管理局・水産庁漁港漁場整備部・経済産業省中部経済産業局・環境省中部地方環境事務所・岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市・名古屋港管理組合・四日市港管理組合

2. 「令和5年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要

2.1 一斉モニタリング期間

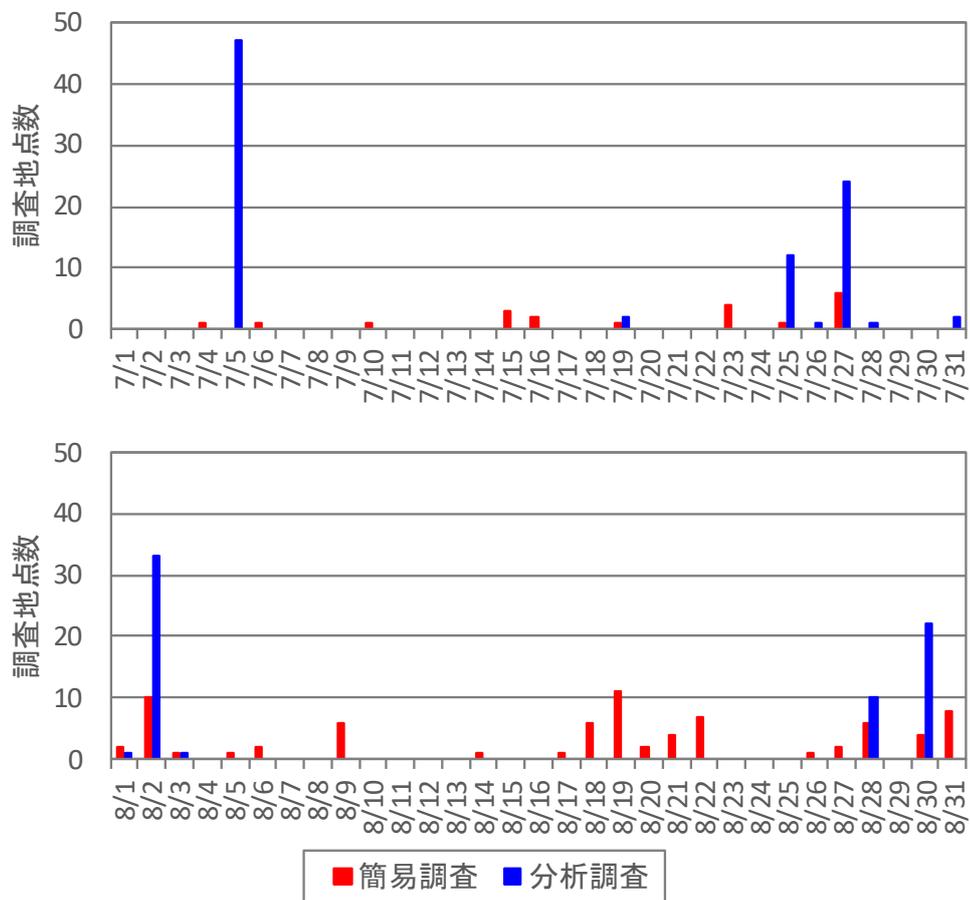
令和5年度は、下記のスケジュールにて一斉モニタリングを実施しました。

<令和5年度のスケジュール>

令和5年									令和6年		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			←————→								

一斉モニタリング期間：令和5年7月1日（土）～8月31日（木）

※令和5年度は統一実施日なし



※1 団体が複数地点調査している場合もある。

図 2-1 令和5年度における一斉モニタリング期間内の調査地点数の推移

2.2 一斉モニタリングの種類

一斉モニタリングでは、主に市民の方々が参加した「簡易水質テスト」、「ごみ調査」、「生物調査」、主に自治体が参加した「分析による水質調査」を実施しました。

2.3 一斉モニタリング参加者

令和5年度も伊勢湾再生に関心をお持ちの多くの団体・機関から参加いただきました。

表 2-1 参加団体数の推移

年度	分析による 水質調査	簡易水質テスト・ごみ調査・生物調査	
		団体数	参加人数
令和5年度	21	43	653
令和4年度	25	38	567
令和3年度	27	39	462
令和2年度	27	44	666
令和元年度	21	43	806
平成30年度	22	39	612
平成29年度	25	48	945
平成28年度	17	51	970
平成27年度	31	71	(集計値なし)
平成26年度	15	76	675
平成25年度	29	83	(集計値なし)
平成24年度	46	59	(集計値なし)
平成23年度	42	49	(集計値なし)
平成22年度	51	67	(集計値なし)
平成21年度	35	60	(集計値なし)

※参加人数は記載のあったものだけカウント

◆ 分析による水質調査（五十音順）

【行政機関】

愛知県建設局（一宮建設事務所、尾張建設事務所、海部建設事務所、知多建設事務所、知立建設事務所、西三河建設事務所、東三河建設事務所）、伊勢湾再生海域検討会事務局（中部地方整備局港湾空港部）、岐阜県可児市、岐阜県瑞浪市、岐阜市環境部環境保全課、第四管区海上保安本部海洋情報部海洋調査課、中部地方整備局（木曾川下流河川事務所、木曾川上流河川事務所、庄内川河川事務所、豊橋河川事務所、三重河川国道事務所、矢作ダム管理所）、名古屋市環境局地域環境対策課、三重県津市、四日市港管理組合

◆ 簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査（五十音順）

【行政機関】

伊勢湾再生海域検討会事務局（中部地方整備局港湾空港部）、岐阜県環境生活部環境管理課、岐阜県岐南町、第四管区海上保安本部

【市民団体・NPO 法人】

渥美半島環境活動協議会、伊勢湾流域圏再生ネットワーク事務局、内山川ホテルを守る会、内部ホテルの里を育てる会、NPO 法人伊勢湾フォーラム、NPO 法人木曾三川ごみの会、扇川を愛する緑の会、小里川ダム里山教室、尾張西部生態系 N/W T・海部野川、各務原市生活学校、金山町生活学校、可児市（めだかの楽校）、亀山の自然環境を愛する会、川ナビ歩こう会、ClearWaterProject、国連支援交流協会名古屋事務局、鯉城・堀川と生活を考える会、清水川を愛する会、白鳥庭園、スティッチ、高松干潟を守ろう会、引山学区保健環境委員会、藤前干潟クリーン大作戦実行委員会、みどりのまちづくりグループ、矢田・庄内川をきれいにする会、養老町女性会議、養老町生活と環境を考える会、四つ葉会、レッ津！夢みなとプラン推進協議会、渡し場かもめ会、個人参加2団体

【企業】

神野建設株式会社、東芝プラントシステム株式会社、名古屋みなと建設工事安全連絡協議会、東洋建設株式会社、株式会社東海環境調査

【学校】

光陵中学校（三重県桑名市）、八風中学校（三重県菰野町）

2.4 水質調査地点

令和5年度の一斉モニタリング調査地点数は、分析による水質調査が274地点、簡易水質テストが152地点でした。

表 2-2 一斉モニタリング地点数の推移

	分析による水質調査			簡易水質テスト		
	陸域	海域	計	陸域	海域	計
令和5年度	199	75	274	108	44	152
令和4年度	220	69	289	132	35	167
令和3年度	236	80	316	103	35	138
令和2年度	231	72	303	147	31	178
令和元年度	212	51	263	133	38	171
平成30年度	266	61	327	109	22	131
平成29年度	285	40	325	128	32	160
平成28年度	215	164	379	160	31	191
平成27年度	422	77	499	225	27	252
平成26年度	259	80	339	132	32	164
平成25年度	328	125	453	159	33	192
平成24年度	450	223	673	357	32	389
平成23年度	483	109	592	119	34	153
平成22年度	569	234	803	189	39	228
平成21年度	264	69	333	78	28	106

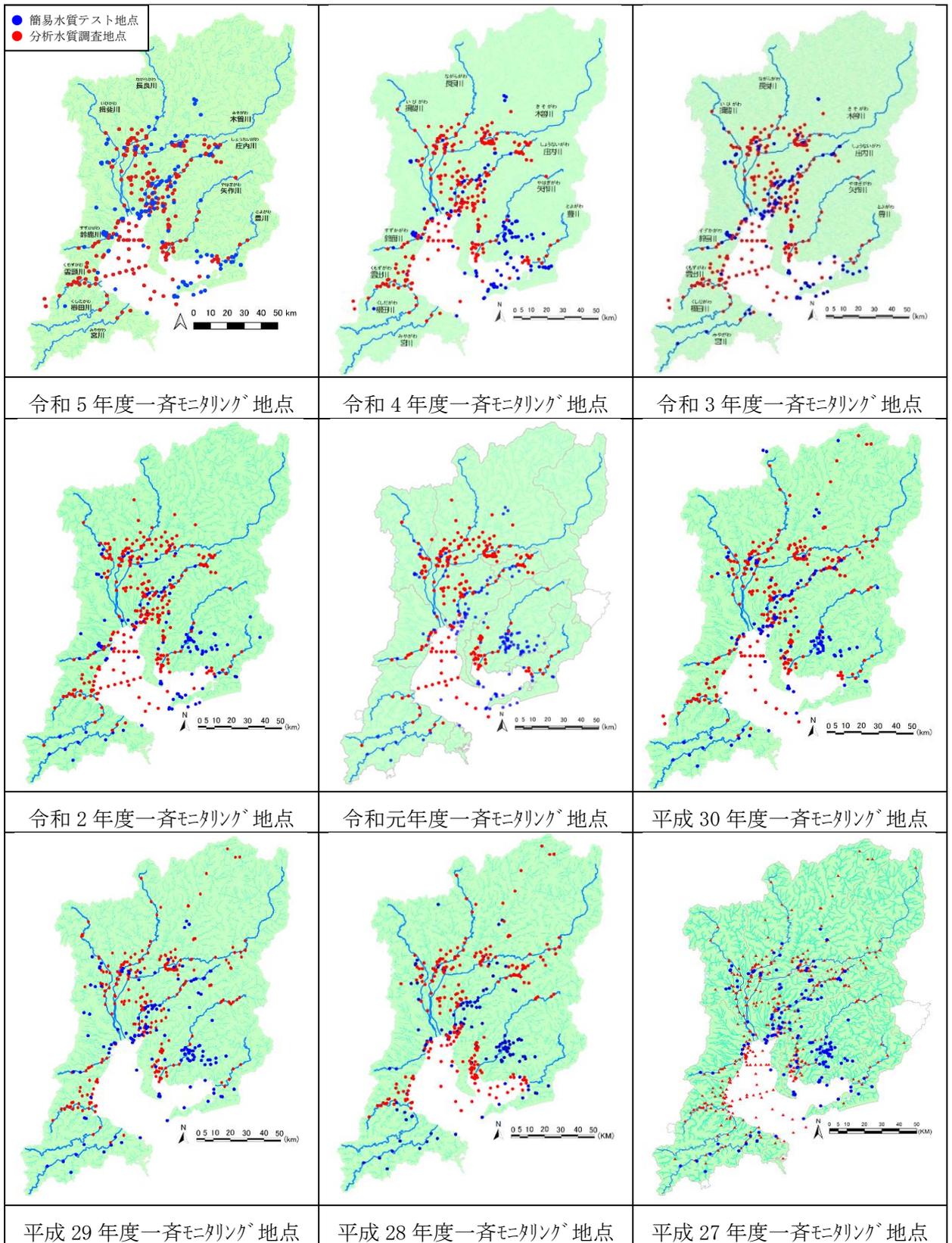


図 2-2 平成 27 年度～令和 5 年度一斉モニタリング地点

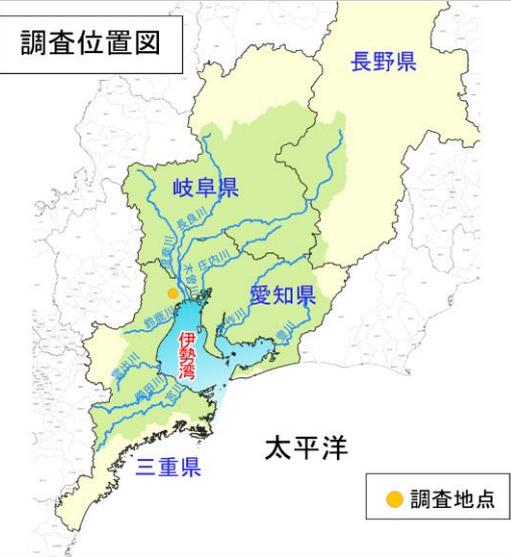
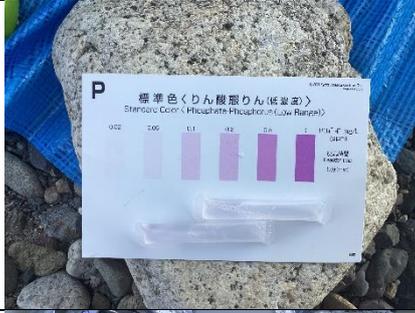
※海域では同じ地点で水深を変えて測っている箇所があるが、同一地点として整理。

3. 代表的な一斉モニタリングの実施状況

参加団体の皆さんから一斉モニタリング結果とともに、沢山の実施状況の写真、感想やご意見等を頂きました。ここでは、参加団体の皆さんから頂きました写真等を紹介させていただきます。頂いたご意見等は、今後の一斉モニタリングの改善にも役立てたいと思います。

なお、コメントや実施の様子がわかる写真がない場合については、実施概要及び実施位置のみ整理しました。

3.1 学校の皆さんの一斉モニタリング

<p>団体名：桑名市立光陵中学校 自然科学部</p> <p>実施日：令和5年7月21日</p> <p>主な観測地点：員弁川</p> <p>参加人数：17人</p>	<p>調査位置図</p> 
	
	
	
<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山の方にあった雪の影響か、水かさが増しており、更に足場が不安定であったため、調査が難しかった。しかし、部員からは「楽しかった」という感想があった。 例年と比べ、水かさと共に、流れが速かった。 天気は不安定だった。 例年と比べ、作業はスムーズに進んだが、パックテストで異常な値が出ていた。 今回は、川魚を数匹、ナマズを一匹捕獲する事ができた。 	

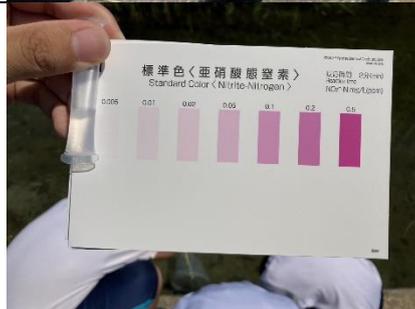
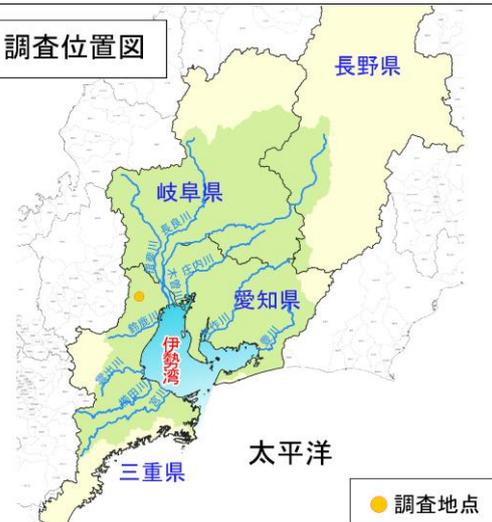
団体名：菰野町立八風中学校

実施日：令和5年7月28日

主な観測地点：田光川

参加人数：7人

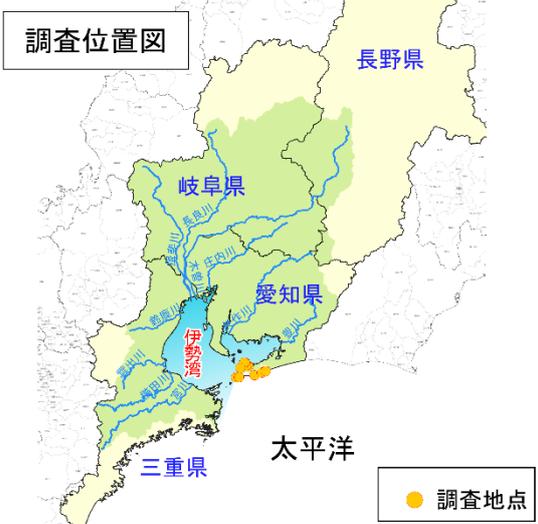
調査位置図

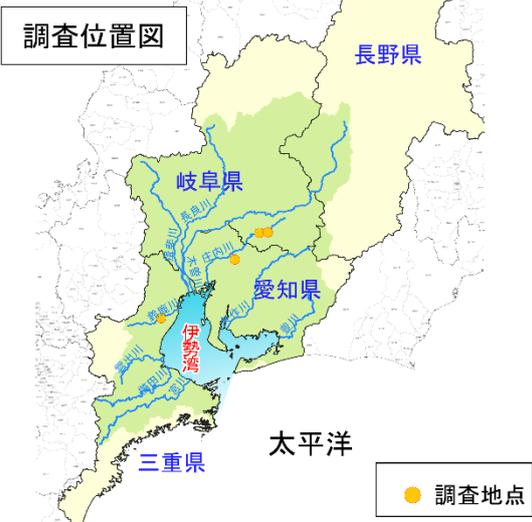


【感想やご意見等】

- ・ 幼稚園や学校に近いから、川はちょっと汚いかなと思っていたが、全くそんなことはなく思っていたよりも魚が多く、綺麗でびっくりしました。ゴミも落ちてなかったからよかったです。生物調査では、最初の方は大きな魚や小さな魚が川全体に広がって泳いでいたけれど、五分位経った内に私達を警戒して川の奥の方の虫取り網が届かないような、端の方にしか泳がなくなっていました。魚も泳いでいたから急に捕まえられえるから驚いたのではないかと思います。
- ・ メチャクチャ暑かったです水質調査や生物をとっての観察ができてよかったですし、楽しかったです。川のことについて少し詳しくなりました。

3.2 団体・NPO 法人・個人の皆さんの一斉モニタリング

<p>団体名：渥美半島環境活動協議会</p>	<p>調査位置図</p>  <p>調査地点</p>
<p>実施日：令和5年8月19日</p> <p>主な観測地点：田原市向山港、小中山港、 立馬崎、三河湾、西の浜、 伊良湖港等</p> <p>参加人数：4人</p>	

<p>団体名：伊勢湾流域圏再生ネットワーク事務局</p>	<p>調査位置図</p> 
<p>実施日：令和5年8月19日、21日、26日、 27日</p> <p>主な観測地点：天神川 土岐川 万尺川 鈴鹿川</p> <p>参加人数：1～3人</p>	
	
	
	
<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年に引き続き、調査に参加しました。 ・ モニタリングの調査に参加することにより、川への関心を持つきっかけができると思います。多くの方が参加できると良いと思います。 ・ 今年で5回目です。毎回同じ場所で調査しています。川の様子や、周辺の環境に特段の変化は見られませんが、水量は昨年より少なく感じました。 ・ R4年に比べて、次の検査項目の数値に変化がありました。 亜硝酸態窒素 R4：0.02 → R5：0.01、硝酸態窒素 R4：0.02 → R5：0.01、リン酸態リン R4：0.2 → R5：0.1 ・ この川の上流には農業用のため池がいくつかあり、それらが主な水源になっていると思います。ブロック張りの護岸なので、川に親しむといった要素は少ないのですが、小魚は多く、サギやカワセミを見たこともあります。清流とは言えませんが、街中を流れる川としてはキレイな方だと思います。※温度計を忘れたので、水温は計れていません。 	

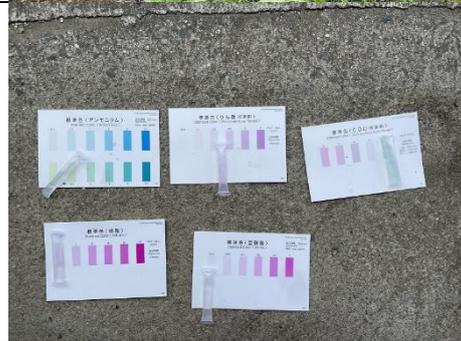
団体名：内山川ホタルを守る会

実施日：令和5年8月18日

主な観測地点：内山川森下橋下流
内山川上境坪橋上流

参加人数：6人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ サワガニが減って、スジエビが多く見かけるようになりました。
- ・ カワニナは足の踏み場のないほどたくさんいました。
- ・ 今年は6月以降に台風の影響による大雨が多いため、例年に比べ水量も多く流れも早いです。例年と同じ場所で生き物調査を行ったところ、河床の形状が変わって生き物などが移動してしまっているようです。

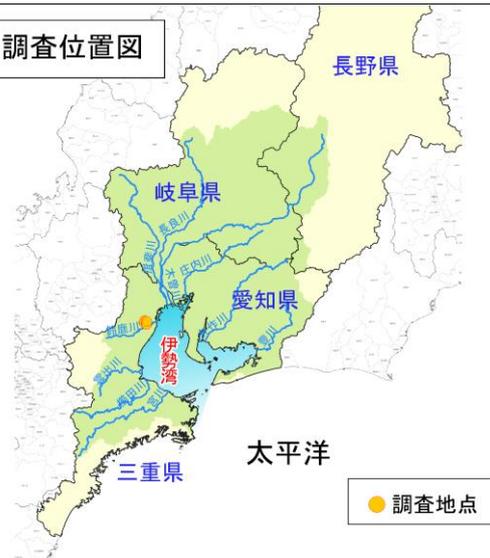
団体名：内部ホタルの里を育てる会

実施日：令和5年8月31日

主な観測地点：三重県四日市市

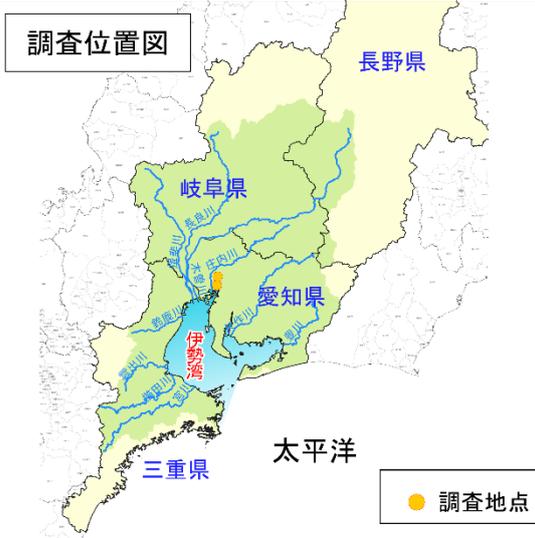
参加人数：7人

調査位置図



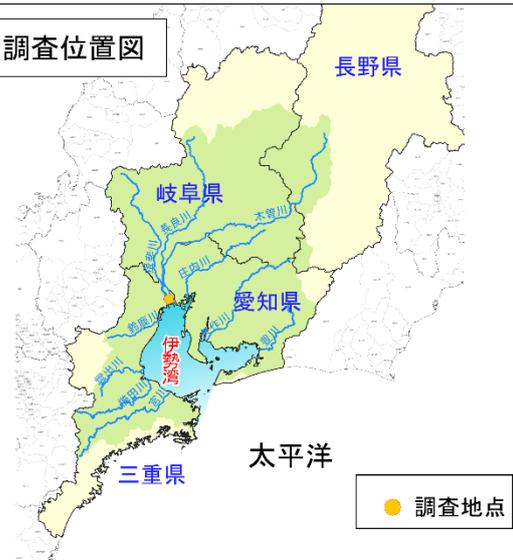
【感想やご意見等】

- ・ 自然の雨水（地下水）と内部川から水が引かれている。
- ・ 周辺の山や田んぼから水が流れてくる。
- ・ 池に落ち葉が多くしずんでいる。
- ・ 自分達の川の環境が知れて大変良いと思います。

<p>団体名：NPO 法人伊勢湾フォーラム</p>	<p>調査位置図</p> 
<p>実施日：令和5年7月27日</p> <p>主な観測地点：中川運河いろは橋付近、 中川運河小栗橋付近</p> <p>参加人数：5人</p>	
	
	
	
<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当日の気温は高く、数年前に比べると水温の上昇もみられているが、COD の値が以前よりよくなり、「汚れている」という範囲となった。透明度については、季節柄あまりよいとは言えず。運河内でのゴミはなく、「清港会」の清掃活動が行き届いているのではと思われたが、まちなかから流出しているゴミの量は多くなり、伊勢湾三河湾の沿岸や砂浜にたどり着いている現状がある。コンビニエンスストアのゴミ箱が店外設置から店内設置をするところが多くなり、車の中で食べたもののゴミをわざわざ店内に捨てる煩わしさがあるのか、車窓から等のポイ捨ては増している。はまちなかのクリーンアップ作戦ももちろん必要ではあるが、そもそも車窓からのポイ捨て、食べ歩きマナーの向上に取り組んでいかないとゴミは増えていくばかりと思った。 	
<p>団体名：NPO 法人木曾三川ごみの会</p>	

実施日：令和5年8月28日
 主な観測地点：揖斐・長良川左岸
 参加人数：5人

調査位置図



【感想やご意見等】

- 毎年雨季になり上流部より出水があると、木曾三川河口部に、大量のごみ等が流れてきます。その一部が川岸に漂着します。その頃この行事に地域の児童と参加をさせていただき、児童が環境問題を考えるいい機会ととらえていました。今年もコロナ禍で、児童を交えた活動が出来ず残念に思っています。次年度は、地域児童と参加したいと思います。

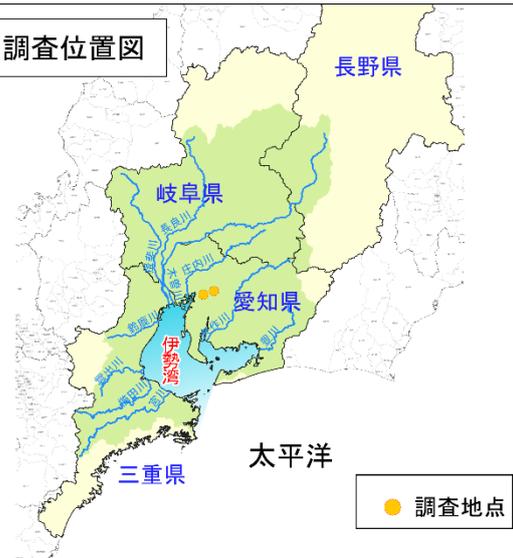
団体名：扇川を愛する緑の会

実施日：令和5年7月16日

主な観測地点：扇川

参加人数：2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 夏の水質としては、結果も透視度もいつもより若干良い結果だった。
- ・ 橋から見た目では、水深も浅く川底が確認できる。いつもいるコイが確認できなかった。子魚の群れが少し、カメ、カワウが確認出来たが、生き物の種類としては、さびしい感じがした。カワウは、採水地点近くの水面を飛んでいた。
- ・ 川清掃を行っていた数年前より、ゴミが少なくなったように感じた。
- ・ 慣れ親しんだ地元の川なので、皆さんに関心を持っていただいて、いつまでもきれいな川であってほしいです。

団体名：小里川ダム里山教室

実施日：令和5年7月27日

主な観測地点：庄内川上流の土岐川本流
土岐川の支流の小里川
土岐川本流釜戸川
釜戸川支流佐々良木川

参加人数：6人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 昨夜の夕立で、各地点ともに、すこし砂濁りであった。
- ・ 地点③の土岐川支流の小里川にかかる孕子橋（はらみこ）で体長約60cm大ナマズをタモで捕えた。餌の水生生物がたくさん居るのだろう。
- ・ 地点④の土岐川上流域の釜戸川の支流の佐々良木川にかかる上平橋で一投の投網で鮎8匹が捕れた。昨年度の中央道バイパスの橋脚設置工事が終わって、水生生物が回復してきたようだ。

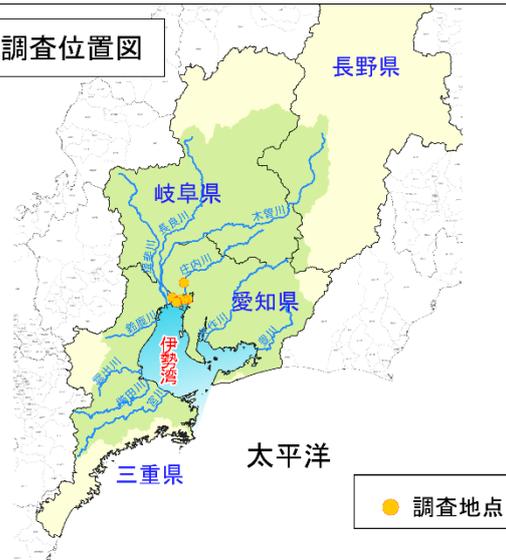
団体名：尾張西部生態系 N/W T・海部野川

実施日：令和5年8月6日、27日、30日

主な観測地点：庄内川、名古屋港、日光川河口、
イカダ川、操出川等

参加人数：3人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 台風の影響で風強くバケツ押される。
- ・ 緑色プランクトンが多そう。橋脚間の空地釣り関係ゴミが多い。
- ・ 魚居ないらしく、釣り師の使った餌が放置、よほど釣れないとみえる。
- ・ 鳥や虫の声全く聞こえない。妙な気分になる。

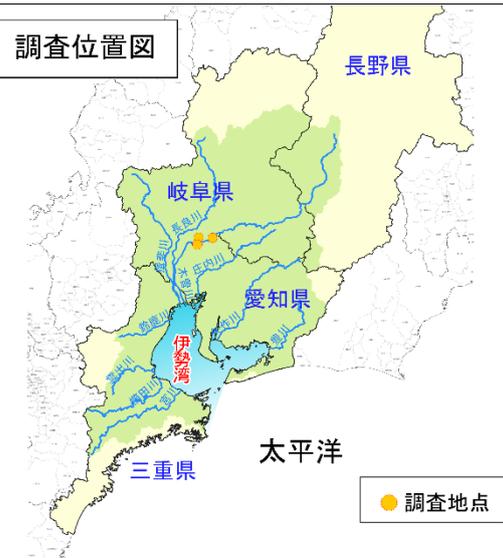
団体名：各務原市生活学校

実施日：令和5年8月18日

主な観測地点：新境川、大安寺川、鉄砲川

参加人数：5人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ コロナ禍の関係で、地域での草刈りが出来ていない為か、雑草が生い茂っていた。
- ・ 台風の後の為か、ゴミが少なかった。

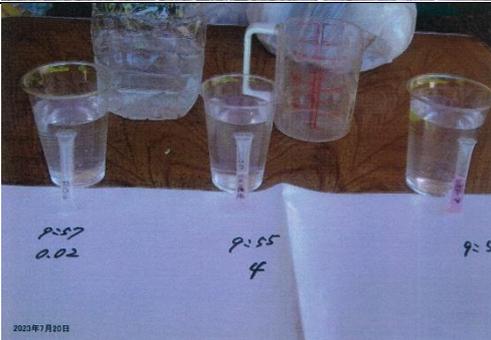
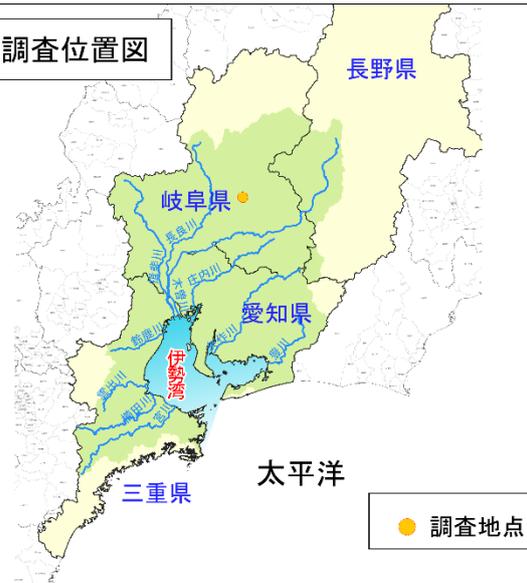
団体名：金山町生活学校

実施日：令和5年7月20日、31日、
8月3日、26日

主な観測地点：飛騨川、馬瀬川、菅田川

参加人数：1～3人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 前夜、雨が降ったせいか、きれいに見える川水も多少の汚れがあるのかも感じました。
- ・ ずっと晴れた日が続いていたので、水量も少なめだったが、きれいに流れていた。川面には木々がうつっていた。
- ・ 1回目（馬瀬川）：数日晴天が続き水量は少ない。気温は36℃、水温は26℃。見た目にはにごりのない水色。鮎が泳いでいる。
- ・ 2回目（馬瀬川）：一昨日雨が降り、水量が多かった。水色はにごりが少ないように見えた。多少においがあったようだ。気温は34℃、水温は24℃。

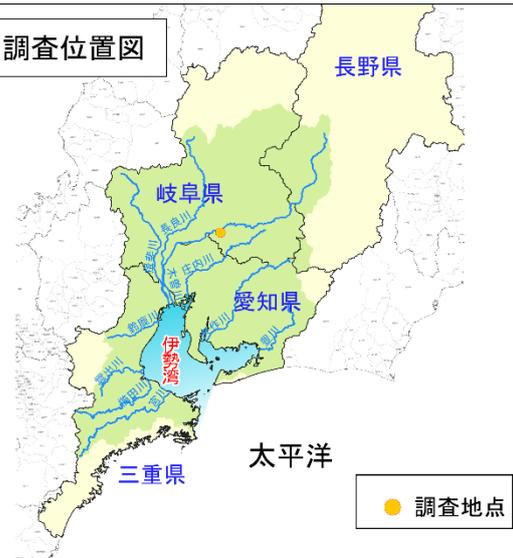
団体名：可児市めだかの楽校

実施日：令和5年8月5日

主な観測地点：可児川

参加人数：30人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 今年度は8月5日(土)に公募の親子、めだかの会員など30名で調査することができました。参加者の方には可児川が海につながっている事、伊勢湾にそそぎこむ川のあちこちで伊勢湾を再生したいと願いプロジェクトに参加している団体があることを話しました。
- ・ 川で捕れた生き物としては、今年はテナガエビがよく捕れました。調査地点より少し上流で合流する可児川の支流である瀬田川にヌマムツがたくさんいました、という話を聞いていましたが、可児川で見つけたことがありませんでしたが今年は見つけることができました。
- ・ 植物については、翌週お祭りがあることから、調査地点の川岸がきれいに草刈りがしてあり、詳しくは分かりませんでした。

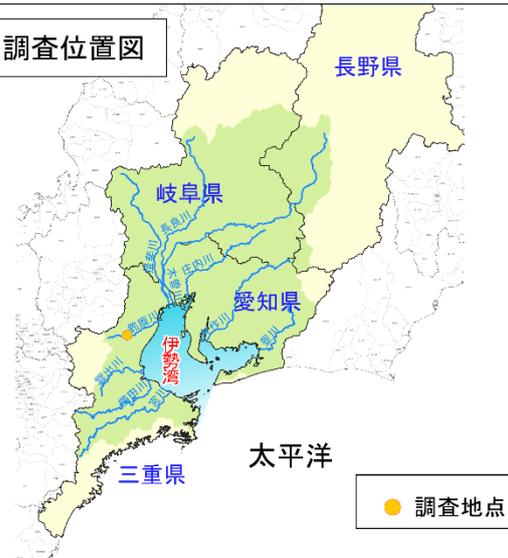
団体名：亀山の自然環境を愛する会

実施日：令和5年8月2日

主な観測地点：鈴鹿川

参加人数：3人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 今回の生き物調査は7月23日亀山市黒山公園（みちくさ）の亀山塾（塾生25名）のイベント「鈴鹿川体験」（同忍山大橋下）での調査結果を代用しました。
- ・ 今年はこの時期気温高く岸部の植物成長早く、目的岸边への草刈りは大変だった。また川の構造の「浅・深」状態の変化が多かった。
- ・ 忍山大橋下流左岸は堤防補強のため堤防-水辺の間に6コほどの「たまり」をコンクリートで作られている。この「たまり」は本流と伏流水でつながり絶好の小魚・稚魚の住家となっていたが、植物の増殖で「たまり」は埋まり、その役目は無に近くなっている。
- ・ 生物多様性の場所として堤防草刈りの際、この「たまり」は治水だけでなく環境保全のために草刈りをお願いしたい。

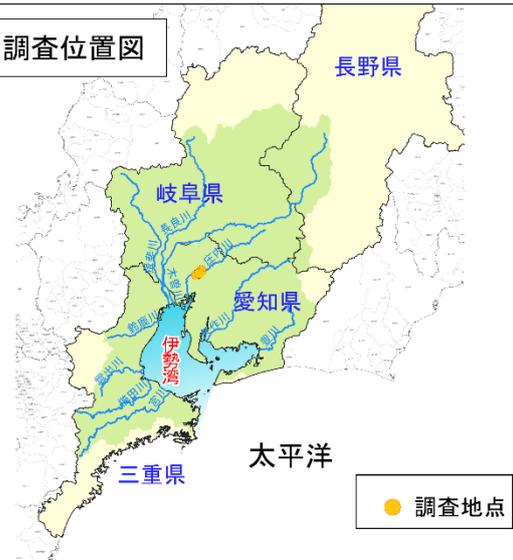
団体名：川ナビ歩こう会

実施日：令和5年7月19日、23日、30日

主な観測地点：堀川

参加人数：3～9人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 水中の水草が増えている気がします。
- ・ また、砂やシルトなどの堆積も以前より多くなっているように感じます。

団体名 : ClearWaterProject

実施日 : 令和 5 年 8 月 21 日

主な観測地点 : 矢作川、植田川

参加人数 : 11 人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ BOD を計測したいので調査キットをいただけると嬉しい。
- ・ 普段から活動しているため、夏季以外も取り組みたく、ご支援いただけると嬉しい。
- ・ 以下、一緒に実施した方の声。
「植田川は汚い」というイメージがあったが、そのイメージ通りにエビデンスが出ると、イメージではなくなるのが実感できて良かった。

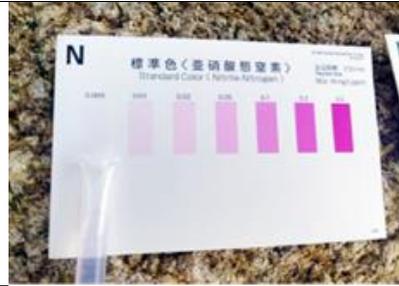
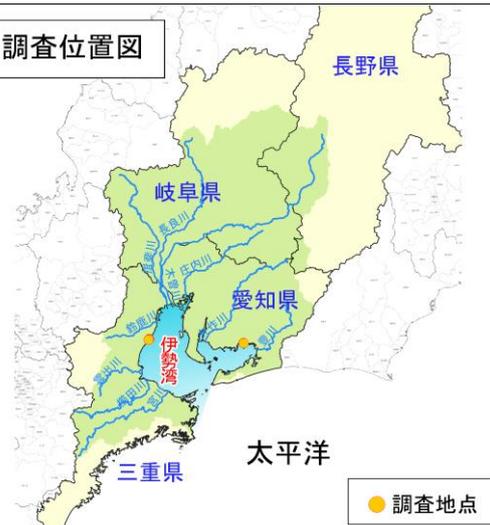
団体名：国連支援交流協会名古屋事務局

実施日：令和5年8月28日

主な観測地点：竹島、白子港

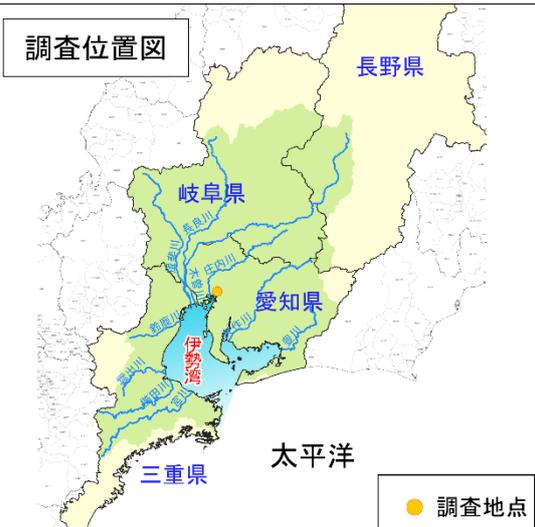
参加人数：3人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 貝殻が多く、海岸に生息する虫が多かった。(フナムシなど)
- ・ ペットボトル、プラスチック用器などの多く見られた。
- ・ ジェットスキーの利用者も多かった。

<p>団体名：鯨城・堀川と生活を考える会</p>	<p>調査位置図</p> 
<p>実施日：令和5年8月6日 主な観測地点：堀川港新橋 参加人数：1人</p>	
	
	
	
<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋港 最大満潮時刻 8:54 2.44m 最大干潮時刻 15:06 0.73m (中潮) 潮の流れはない ・ 生き物：昨年のようにボラやカワウ・ホシハジロなどが見当たらないのが残念。ヨシなどの植物が豊かに生育していると良い。 ・ 昨年、8月7日(日)に比べ、CODは8→6 パックテスト調査項目の数値は変化ない。 ・ 右岸の護岸(水際)にごみが集まっている。 ・ 生き物豊かな堀川にするには調査を継続し、その結果を多くの市民が知り、身近な川に感心を持つことが肝要。 	

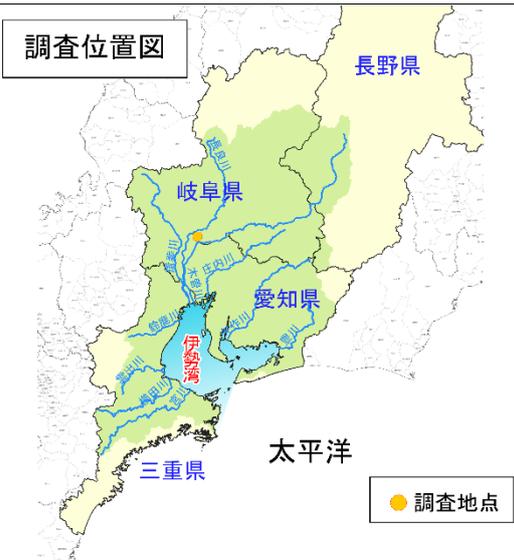
団体名：清水川を愛する会

実施日：令和5年8月20日

主な観測地点：加納八幡神社

参加人数：20人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 見た目に感じる程、試薬の数字は悪くないのか。
- ・ すぐ上流に市の下水道処理場がある。水質の数字や時折流れてくる黒いへドロ状のものとの関係あるのか。

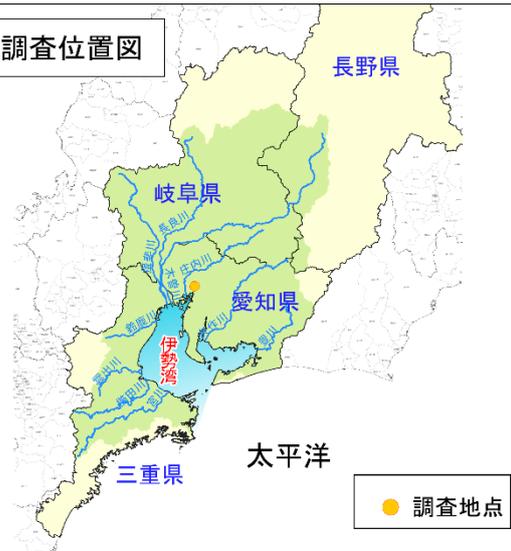
団体名：白鳥庭園

実施日：令和5年7月25日

主な観測地点：堀川

参加人数：2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- 普段通りかかる馴染みのある川が、綺麗でないと感じながらも、改めて数値として汚いことが分かり少し悲しくなりました。
- 冬場にはボラが大量発生し、それをカワウが食べに来ていたので、その時の水質状態も気になりました。

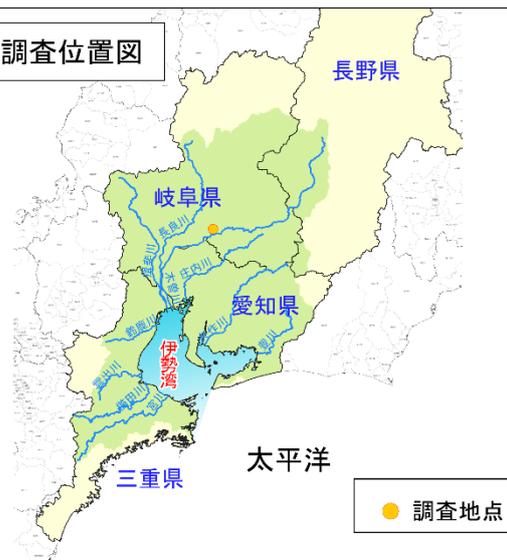
団体名：ステイッチ

実施日：令和5年8月22日

主な観測地点：加瀬田川

参加人数：3人

調査位置図



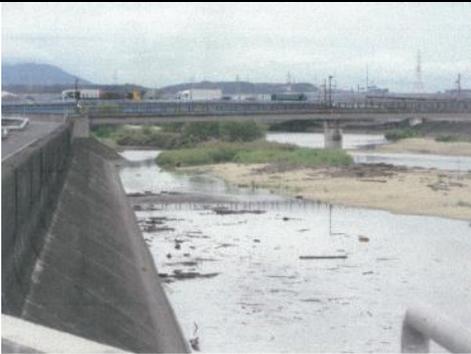
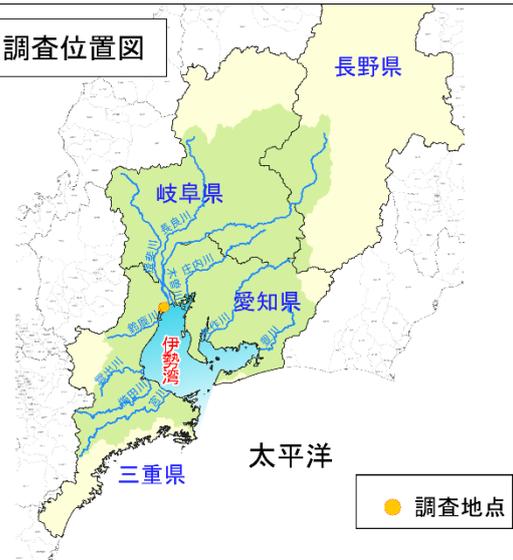
団体名：高松干潟を守ろう会

実施日：令和5年8月23日

主な観測地点：高松海岸、朝明川河口

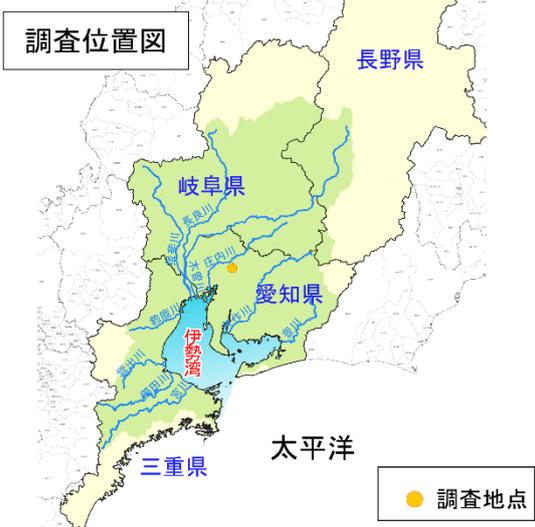
参加人数：1人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 予定した調査日が、天候不良で変更が続いた。漂着ゴミが多かった。大雨・台風と続いたので、流木がいたるところに打ち上っていた。
- ・ 外来植物がめだって多くなった。
- ・ 天候不良で調査できず、今日8/23・曇りで30°で調査がしやすいと思い1人で実施した。
- ・ ゴミの多さにびっくりした。

<p>団体名：引山学区保健環境委員会</p>	<p>調査位置図</p> 
<p>実施日：令和5年7月27日 主な観測地点：香流川 参加人数：6人</p>	
<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最近4～5年前から、気づいたことは、雨が降って間が無く増水し、降っている内水量が多いやめば退く。増水後の水量の引きがとても速く、常の水量に戻ることが早いと実感。 ・ 大雨の時、鉄砲水の危機を感じる。 ・ 春夏秋冬を通じて、雨以外の理由なく、異常に水量が変わる事が無い事、濁水がない。常に水量は一定していて、安定量に見える。 ・ 水の汚れについて、泥汚れは水田の耕作時期か、河川の工事など考えれば良しとして、泡や色付きなどの汚れが苦になる処。 ・ 昆虫、両生類、蛇類などは、かなり減っていると思うが、魚類については、やや減って来たかと感じる。 ・ 草木類は、自然に繁ってきていると思います。菌類の胞子で増える苔の類は、日陰と水分で繁殖。 ・ 緑道の植樹した桜の木、他手入れは地域の支援も必要に応じ歓迎と参加の要請も次世代のヒトづくり！ゴミの不法投棄や置き去りの瓶・缶・菓子袋・ペットボトルも減少していく啓発に！ 	

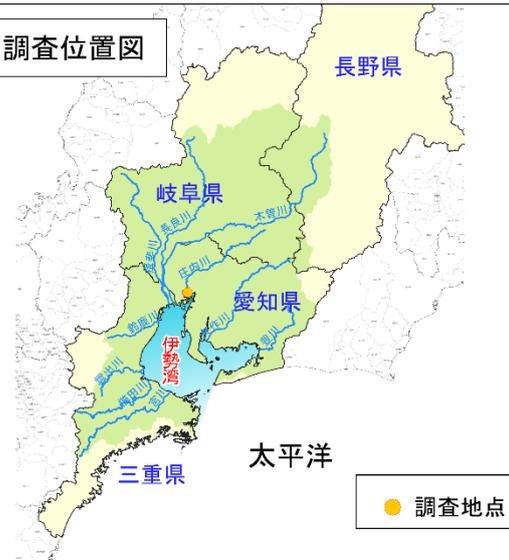
団体名：藤前干潟クリーン大作戦実行委員会

実施日：令和5年8月7日

主な観測地点：庄内川、新川

参加人数：2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 名古屋港 最大満潮時刻 9:45 2.27m 最大干潮時刻 15:39 0.73m (中潮) 潮の流れはない
- ・ 満潮時刻に近い時間に採水・測定しており、名古屋港の水を測定しているのかも知れない。
- ・ 時期的かと思うが生き物があまり見当たらない。

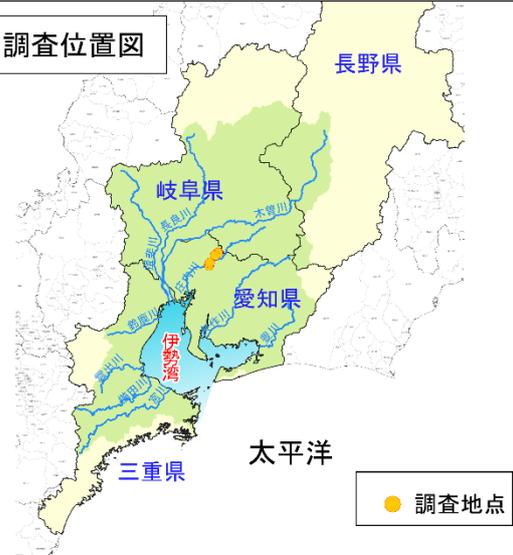
団体名：みどりのまちづくりグループ

実施日：令和5年8月18日

主な観測地点：庄内川

参加人数：4人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 暑い日が続き雨も散発的にしか降らないため、畑の作物は悲惨な状態だが、水辺の植物はいつも以上に元気に見える。
- ・ 例年6月中旬に見られるゲンジボタルが今年は6月初め頃から飛んでいたというのも、この暑さと関係があるのかもしれない。ゴミは全然落ちていなく、流れる水の様子も音も心地よい。
- ・ 大谷川との合流部付近は、兩岸も川底も自然のままの気持ちのいい場所だが、ゴミが捨てられていることが多かった。この日はゴミが全然落ちていなかったのも、誰かが拾ってくれているようだ。大谷川ではみどりのまちづくりグループが年1回ゴミ拾いを行っているが、内津川でも清掃活動が広がってくると嬉しい。

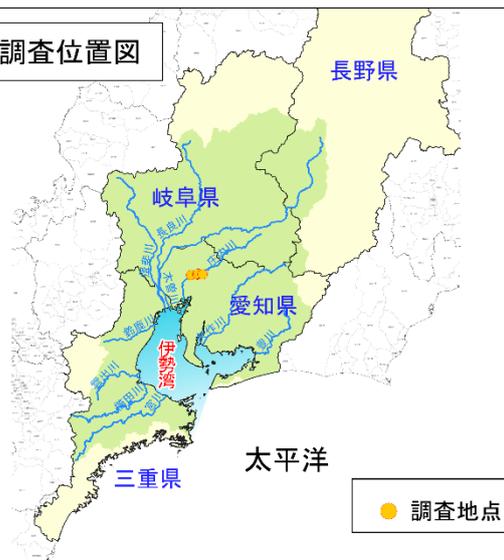
団体名：矢田・庄内川をきれいにする会

実施日：令和5年7月15日

主な観測地点：庄内川、八田川

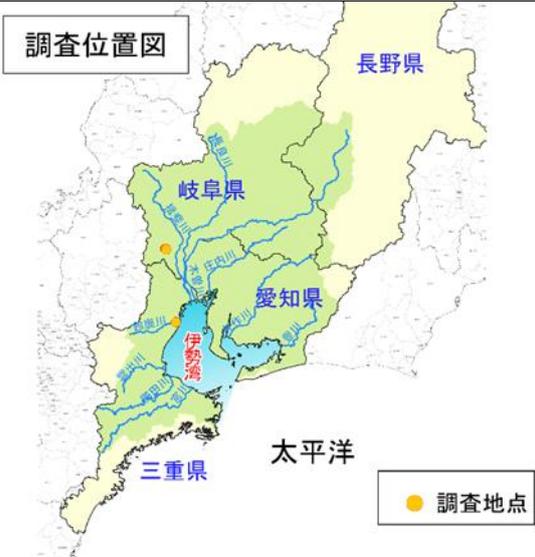
参加人数：6～8人

調査位置図



【感想やご意見等】

- 王子製紙廃水口、近くは生き物なし。

<p>団体名：養老町女性会議</p>	<p>調査位置図</p>  <p>長野県 岐阜県 愛知県 伊勢湾 三重県 太平洋 ● 調査地点</p>
<p>実施日：令和5年7月23日 主な観測地点：五日市川、金草川 参加人数：11人</p>	<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜商業高校・生徒3名、先生、保護者が参加、協力。今迄の調査より、こまかく調査、意見交流した。 ・ 次回より、生徒の自主的な意志により、それぞれ調査場所を決め、行い、海をきれいにと意見を述べ、心強く感じた。 ・ キットの種類名が小さく、見にくいため、それぞれ種類別にシールを貼り、分けて間違いない様に努めた。 ・ 最後は先生に講師もしていただき、意義深い調査の一日でした。12:00までに終わりました。

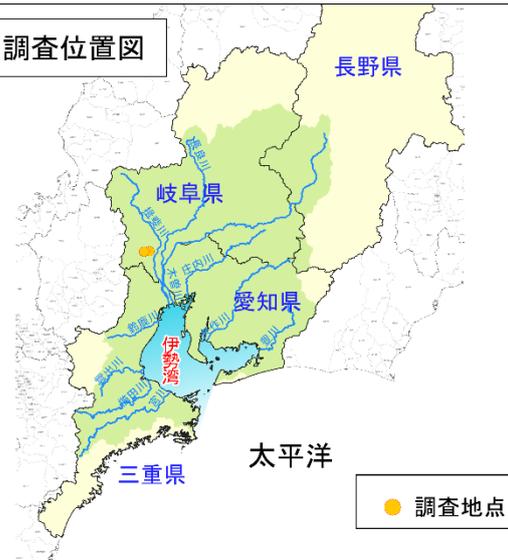
団体名：養老町生活と環境を考える会

実施日：令和5年8月1日

主な観測地点：牧田川、小畑川

参加人数：3人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 住民が自分達で調査することが河の現実を知り、自分達の問題として啓発する原動力となると感じた。
- ・ 小畑川堤は地域のボランティアで（40代～50代）草刈をさせていただいており、トンボ、バッタなど堤にはたくさんいた。
- ・ 十日以上の晴天続きで水量が少なくなりいつもより 200m以上川上で調査した。水たまりが出来、多数の白さぎが飛来していた。
- ・ 川の淵には、サッカーボール、ビニール袋、アイロン台などのゴミがありました。
- ・ 近所の方の魚取り場になっているらしく調査中3人の方がみえました。近所の方の話では「上流にある、製薬会社、製油会社からの廃水で水は汚れているのではないか？」とっていました。
- ・ 結果について養老町の広報誌にて町民にお知らせし啓発していきます。

団体名：四つ葉会

実施日：令和5年7月19日

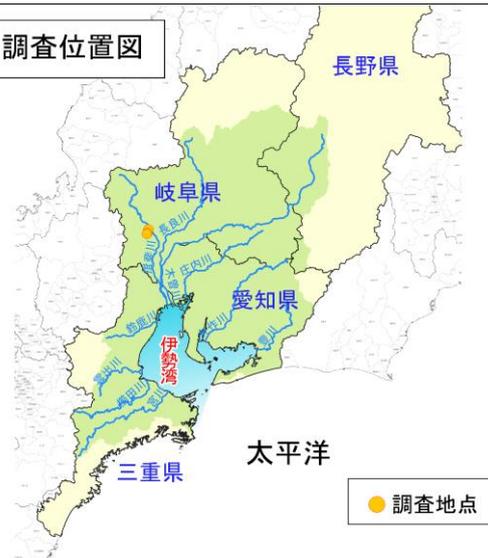
主な観測地点：東川

中川

杭瀬川

参加人数：10人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ No.1「県民の感覚による河川調査」と No.2「パックテスト」の結果から三つの川を比較すると、きれい順で「杭瀬川>東川>中川」となっている。

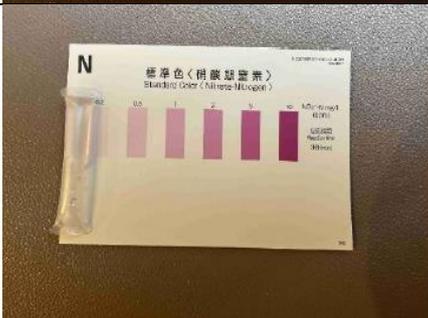
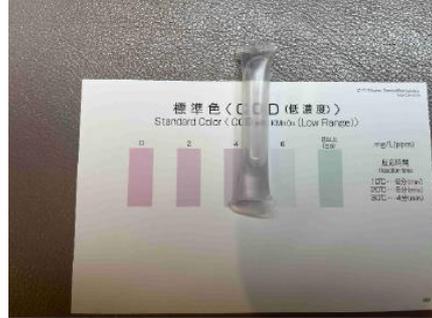
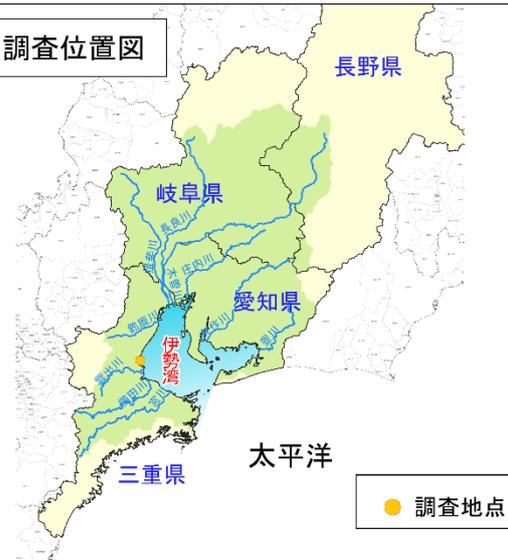
団体名：レッ津！夢みなとプラン推進協議会

実施日：令和5年8月21日

主な観測地点：岩田川河口

参加人数：2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 当協議会では、中部国際空港への高速船アクセス港である「津なぎさまち」周辺の水質環境について、当該取組を通じて継続的に調査を行っている。
- ・ 今回の調査において採取した水を水道水と比較したところ、目視においては細かい浮遊物が多少みられるものの、着色や濁りは認められず、また、パックテストによる試薬調査においても、各調査項目ともに低値を示し、昨年度の調査結果と比較しても特に大きな変化はなかったことから、水域の環境は良好に保たれていることが確認できた。
- ・ 伊勢湾流域圏が一体となって、このような調査を実施することは、自然環境の保全意識高揚の観点からも、非常に意義深いことであるため、今後も継続的な取り組みをお願いしたい。

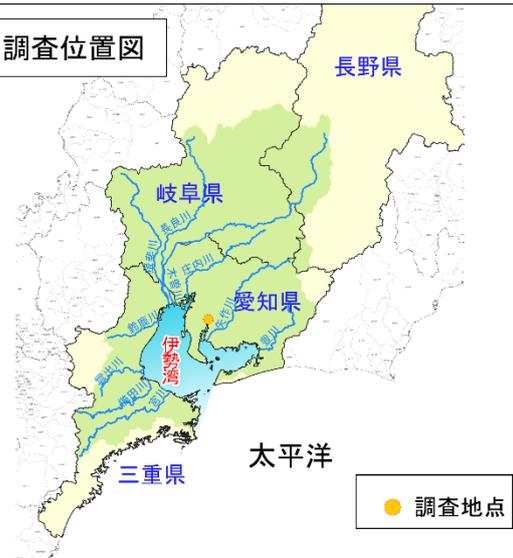
団体名：渡し場かもめ会

実施日：令和5年8月6日

主な観測地点：衣浦港

参加人数：50人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 調査日は朝早くからハゼ釣りを楽しむ人で賑わっていました。つり日和は、皆さんたくさんのハゼを釣り上げ喜んでます。
- ・ 一方、多目的広場の西側海岸では、このように季節ごとに釣りを楽しむ人でにぎやかですが、依然とゴミの放置は目立っています。昨年、ピンセットを使ってマイクロプラスチックを拾う試みをしています。一見、きれいに見える海岸もよく見ると、細かく小さくなったプラスチック等がたくさん落ちていいます。そこで、海の水質だけでなく、マイクロプラスチックにも関心を持ってもらいたいと思います。海をきれいにするには私たちでは限られています。ゴミを捨てずに家に持ち帰ることを行っていきます。

<p>団体名：個人参加（柳稲葉山観測所）</p> <p>実施日：令和5年8月20日</p> <p>主な観測地点：拾石川、松島、春日浦公園</p> <p>参加人数：2人</p>	<p>調査位置図</p>
<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年に引き続き、「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」に参加させていただきありがとうございます。 ・ 6/2の記録的豪雨・8/15の台風・この夏の酷暑の影響なのかわかりませんが、各調査個所とも、昨年と比較して生き物の種類・数共に減少している感じがうけました。来年以降、この影響がどのように出てくるのか懸念されます。 ・ 調査個所の水質は非常に良好であると思われます。この状態が継続・また、さらに改善されるよう、海岸保全活動などに参加していきたいと思っています。 ・ 来年も調査に参加させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。 	

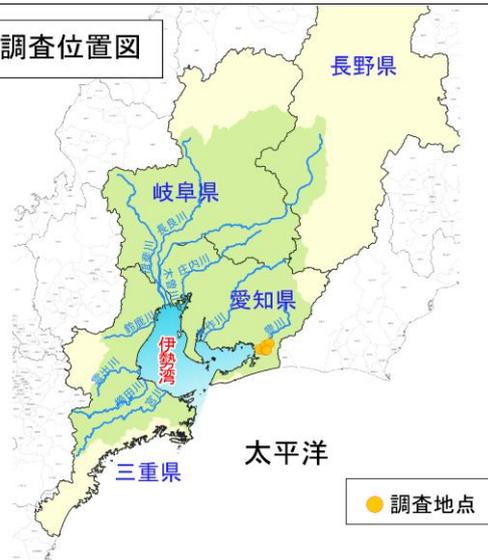
団体名：個人参加（豊川水質調査隊）

実施日：令和5年8月22日

主な観測地点：豊川、朝倉川

参加人数：4人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 3年間、梅田川 (R3)、柳生川 (R4) と今回 (R5) の豊川の観察をすることができ、ありがとうございました。
- ・ 孫3人も興味をもってきたように思います。
- ・ 3つの川は、その地域・場所の特徴がよく表れたデータであったと思います。
- ・ より良い水環境にして、温暖化も防ぎ、住み良い地域にするために、できることを家族で話し合っていきます。
- ・ 「川の水調査セット」等ありがとうございました。
- ・ 皆様のご活躍をおいのり致します。R5. 8. 24

3.3 企業の皆さんの一斉モニタリング

<p>団体名：神野建設株式会社</p>	<p>調査位置図</p>
<p>実施日：令和5年8月9日 主な観測地点：三河湾 参加人数：2人</p>	
<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全個所を通じ水質は良好であった。また、パックテストでは色の変化がなく測定範囲外なのかわからない物質もあり検査精度に不安が残った。 ・ もう少し低い数値の物があるとより正確に測定できると感じた。 ・ 今回は台風6号の影響で時折豪雨となる変わりやすい天気であった。このためか水温が2～3℃低かった。 	

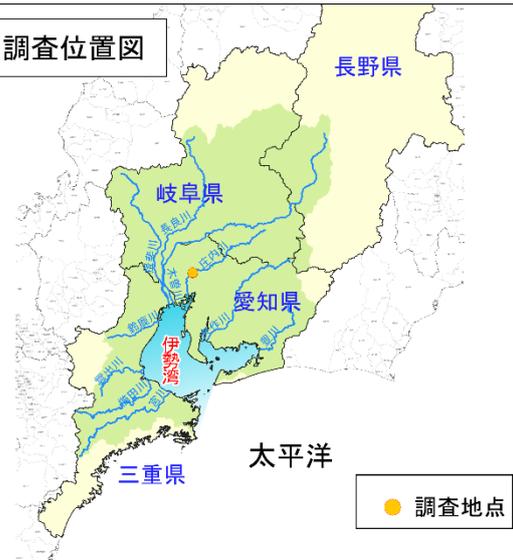
団体名：東芝プラントシステム株式会社

実施日：令和5年8月3日、4日

主な観測地点：庄内川

参加人数：3人

調査位置図



【感想やご意見等】

- 平成27年度から参加させていただき今年9回目になりました。
私たちに出来ることはわずかですが、定点モニタリングを継続することで伊勢湾の再生に少しでも寄与できればと思います。
この活動により多くの方が参加され、収集されたデータにより伊勢湾流域圏が再生され次世代に継承されることを願っております。

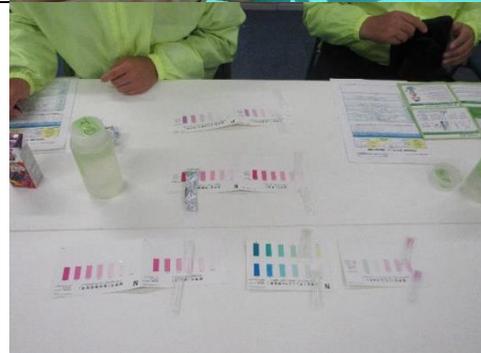
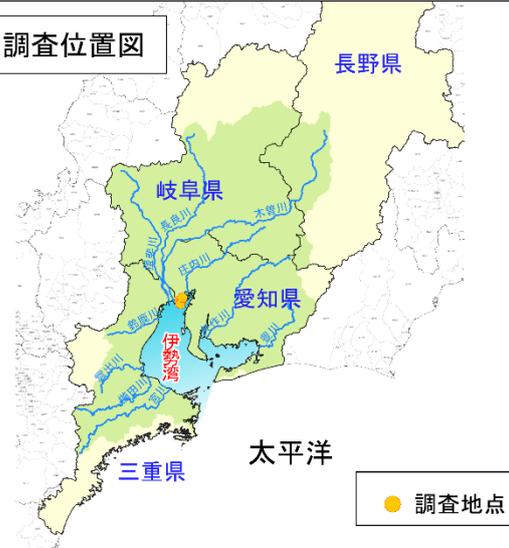
団体名：名古屋みなと建設工事安全連絡協議会

実施日：令和5年8月4日

主な観測地点：名古屋港

参加人数：8人

調査位置図



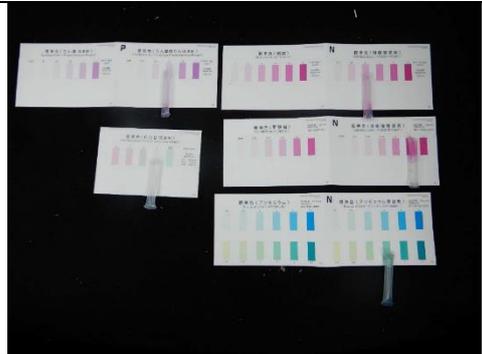
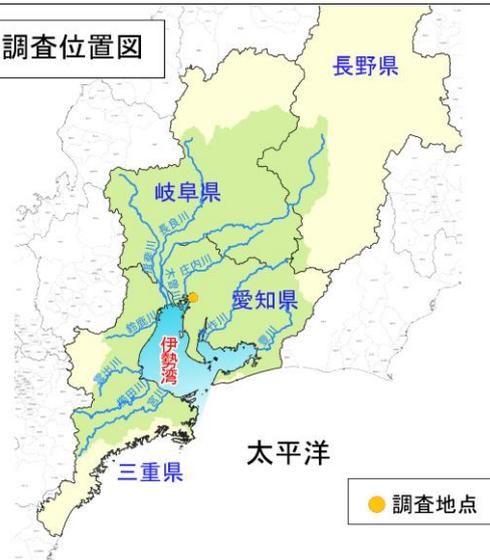
団体名：東洋建設株式会社

実施日：令和5年7月14日

主な観測地点：天白川

参加人数：2人

調査位置図



団体名：株式会社東海環境調査

実施日：令和5年7月14日、20日

主な観測地点：三重県朝明川河口付近、
吉崎海岸

参加人数：2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 弊社の馴染みの調査地点で、桑名・四日市市内で海岸漂着物が比較的多めである当地点を選定した。比較的、人が多数集まらないポイントなので、自然の形で採水出来たと思う。
- ・ 調査結果から、比較的水が濁っており、汚染されているように思える。
- ・ 周辺の漂着物は灌木・流木が目立ち、その他はプラスチック類が主である。
- ・ 採水した水は濁りがほぼない。

3.4 行政機関の一斉モニタリング

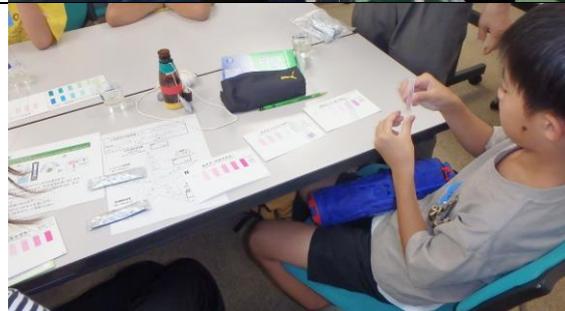
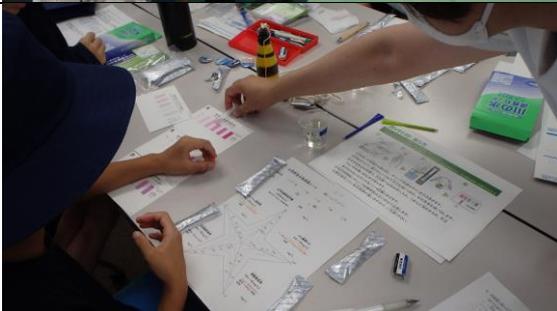
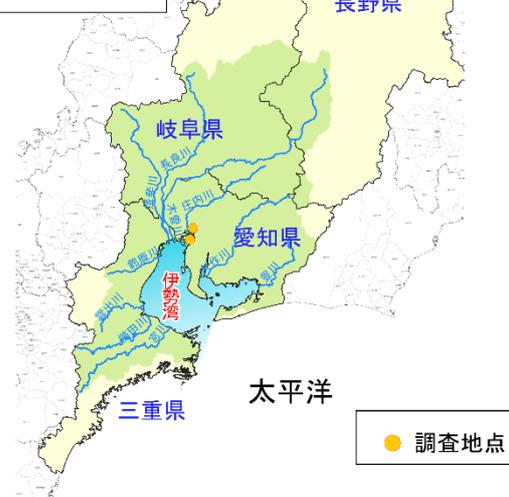
団体名：伊勢湾再生海域検討会（東海市エコスクール）

実施日：令和5年8月2日

主な観測地点：名古屋港

参加人数：22人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 普段体験ができないことばかりで、有意義な時間でした。
- ・ 初めての体験で親子でワイワイ話しながらやれてよかったです。

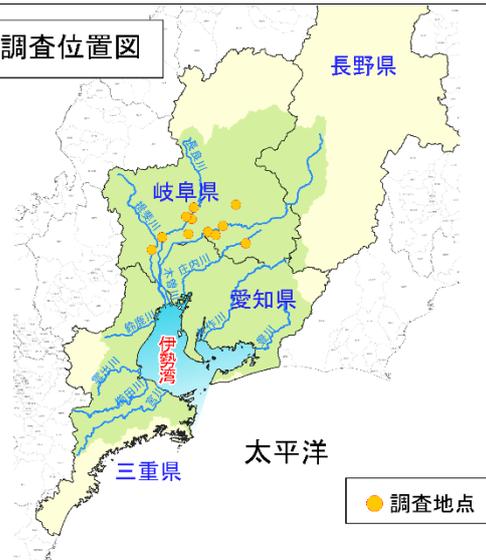
団体名：岐阜県環境生活部環境管理課水環境係

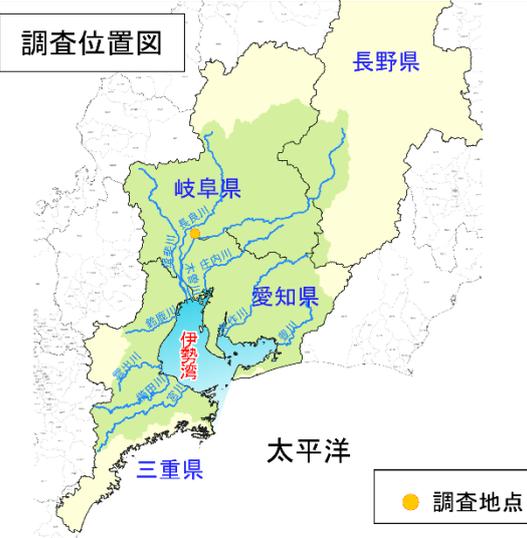
実施日：令和5年8月2日、9日

主な観測地点：木曾川、加茂川、可児川、
新境川、白川、長良川、
板取川、武儀川、糸貫川、
水門川、土岐川、小里川

参加人数：-人

調査位置図



<p>団体名：岐阜県岐南町</p>	<p>調査位置図</p> 
<p>実施日：令和5年8月14日</p> <p>主な観測地点：境川</p> <p>参加人数：6人</p>	
	
	
	
<p>【感想やご意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度も夏休み期間中であることから職員の子供たちと一緒に調査を実施しました。台風も近づいていることから、前日より大気が不安定で、昨夜はゲリラ豪雨もあり、水の濁りが懸念されましたが、調査当日は水量、水質、流れの状態等、安定しており良い調査結果を得ることが出来ました。 昨年度から引き続き調査に参加している児童は手慣れた感じで試薬を扱い、各項目の値を確認してくれました。若干、水の流れが速く、子供の目では中々水生生物を目視することが困難ではありましたが、良い経験が出来たと思います。水の大切さを分かってもらうために、今後もできる限り調査に参加して行きたいと思います。 	

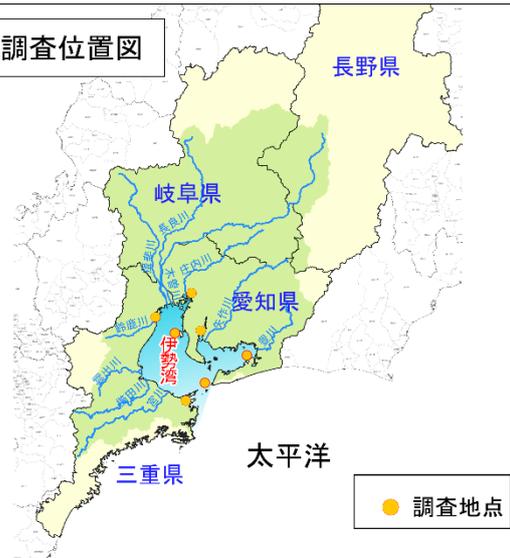
団体名：第四管区海上保安本部

実施日：令和5年7月4日、6日、10日、
8月2日、3日、17日、21日

主な観測地点：名古屋港、四日市港
鳥羽港、伊良湖港
常滑港、衣浦港
三河港

参加人数：2人

調査位置図



【感想やご意見等】

- ・ 伊良湖について、採水の結果、水質が良いことが分かった。
- ・ 水質の変化を観測する観点から、今後も継続して実施し、データの蓄積を図るのが良いと感じた。

4. 一斉モニタリング調査結果

4.1 分析による水質調査

分析による水質調査では様々な水質項目を調査していますが、一斉モニタリング調査結果では次の8項目を示します。

表 4.1 分析による水質項目

水質項目	水質項目が示すもの
① BOD (生物化学的酸素要求量)	河川の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
② COD (化学的酸素要求量)	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
③pH	酸性・アルカリ性の程度を示します。pH7が中性、pHが7より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。
④全窒素	水中の窒素の量を示します。窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑤全リン	水中のリンの量を示します。リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑥DO (溶存酸素)	水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。
⑦SS (浮遊物質)	水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
⑧大腸菌群数	大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。

BOD（生物化学的酸素要求量）

河川の有機物による水の汚れを示します。

環境省の環境基準（河川、湖沼を除く）

類型	AA	A	B	C	D	E
BOD	1mg/L 以下	2mg/L 以下	3mg/L 以下	5mg/L 以下	8mg/L 以下	10mg/L 以下

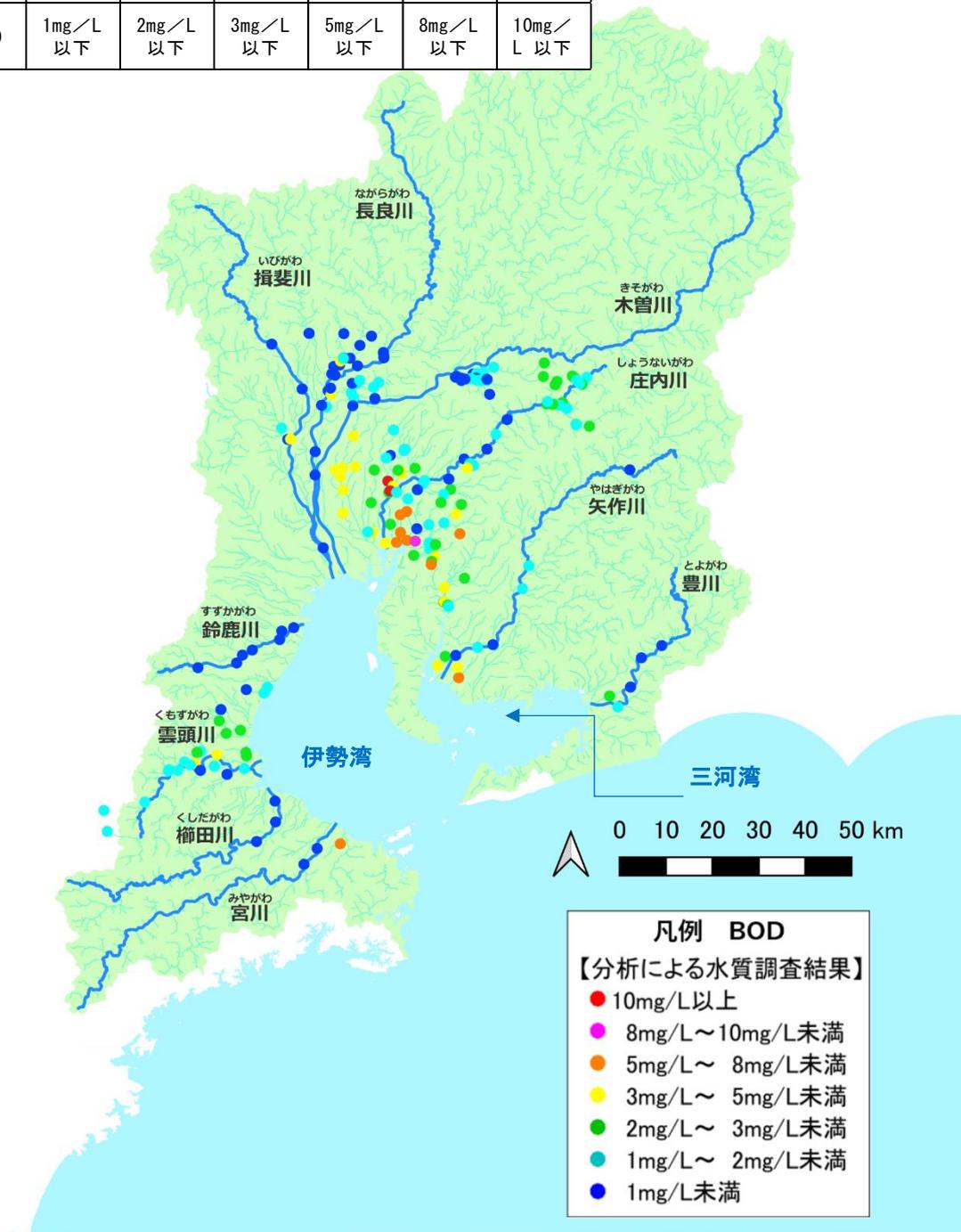


図 4-1 BOD(生物化学的酸素要求量) (分析による水質調査結果)

特に揖斐川、長良川、木曾川の本川周辺では 1mg/L 未満の調査結果が多くなっています。また、庄内川の河口周辺では、2mg/L 以上の調査結果もみられています。

COD (化学的酸素要求量)

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。

環境省の環境基準 (海域)

類型	A	B	C
COD	2mg/L 以下	3mg/L 以下	8mg/L 以下



図 4-2 COD(化学的酸素要求量) (分析による水質調査結果)

庄内川下流では 5mg/L 以上の調査結果が多くなっています。

また、特に長良川中流周辺では 5mg/L 未満の調査結果が多くなっています。

pH

酸性・アルカリ性の程度を示します。

pH7 が中性、pH が 7 より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。

環境省の環境基準

pH	AA	A	B	C	D	E
河川	6.5 以上 8.5 以下	6.5 以上 8.5 以下	6.5 以上 8.5 以下	6.5 以上 8.5 以下	6.0 以上 8.5 以下	6.0 以上 8.5 以下
海域	—	7.8 以上 8.3以下	7.8 以上 8.3以下	7.0 以上 8.3以下	—	—

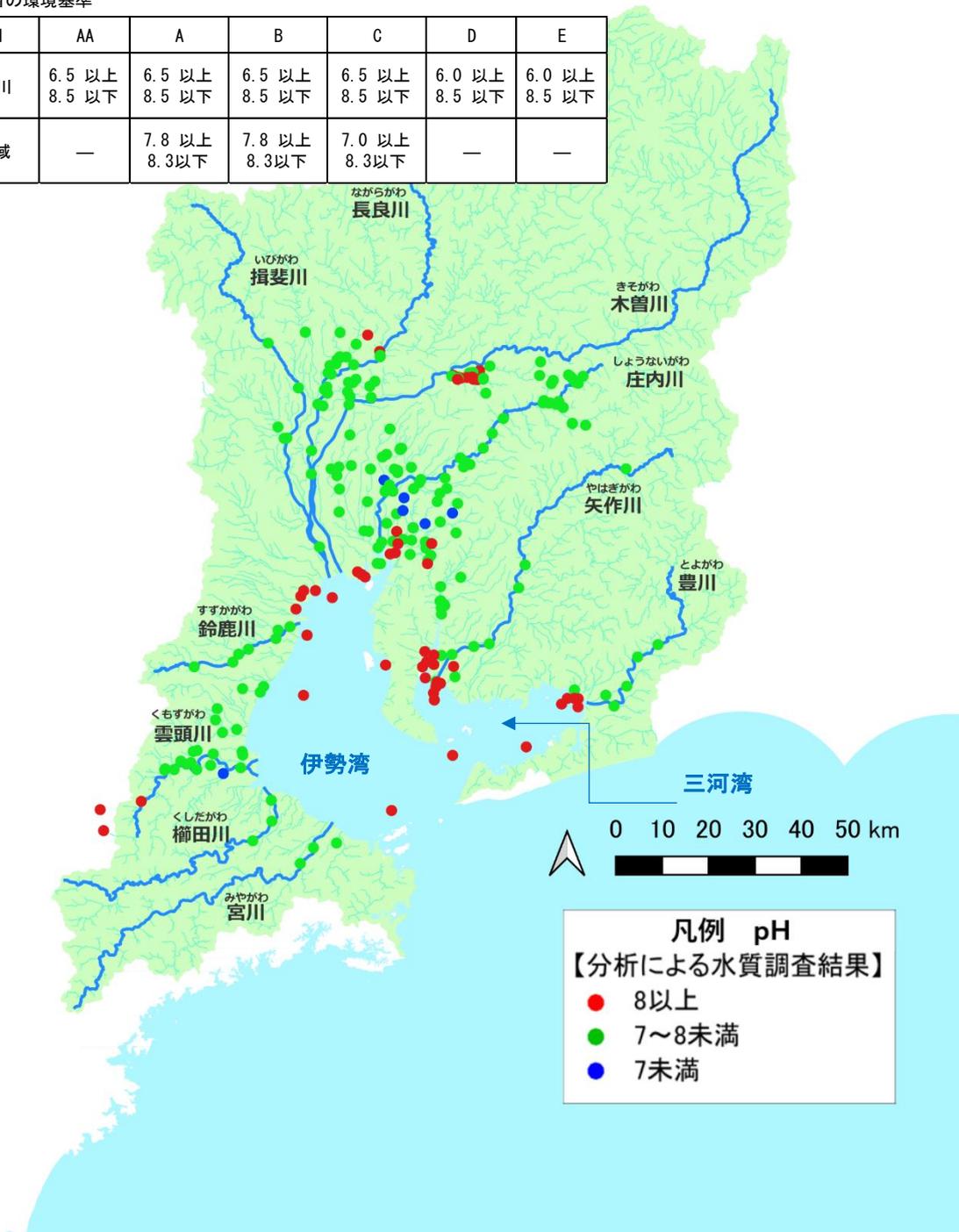


図 4-3 pH(分析による水質調査結果)

河川では一般的に 7 付近の中性で、河川の観測値の多くが 7～8 未満となっています。河川の一部の地点では 8 以上のアルカリ性を示していますが、地質などの自然の特性によって高くなることがあります。一方、海の pH は一般的に 8 前後のアルカリ性を示すため、海の観測値は 8 以上となっています。

全窒素

水中の窒素の量を示します。

窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。

環境省の環境基準（海域）

類型	I	II	III	IV
全窒素	0.2mg/L 以下	0.3mg/L 以下	0.6mg/L 以下	1mg/L 以下

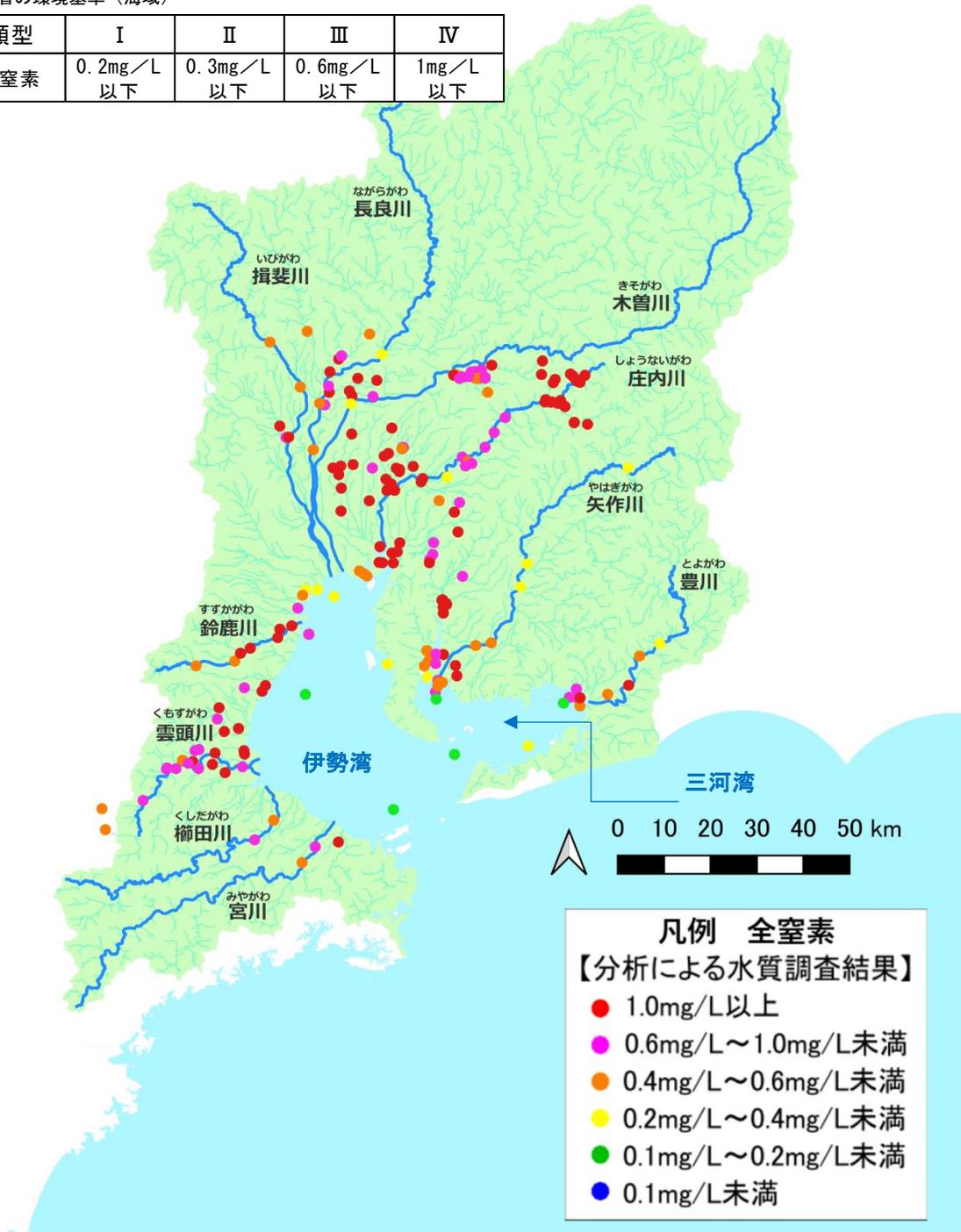


図 4-4 全窒素(分析による水質調査結果)
0.6mg/L以上のところが多くなっています。

全リン

水中のリンの量を示します。

リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。

環境省の環境基準（海域）

類型	I	II	III	IV
全リン	0.02mg/L 以下	0.03mg/L 以下	0.05mg/L 以下	0.09mg/L 以下



図 4-5 全リン(分析による水質調査結果)

0.05mg/L以上のところが多くなっています。

DO（溶存酸素）

水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。

溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。

環境省の環境基準

DO	AA	A	B	C	D	E
河川	7.5mg/L 以上	7.5mg/L 以上	5mg/L 以上	5mg/L 以上	2mg/L 以上	2mg/L 以上
海域	—	7.5mg/L 以上	5mg/L 以上	2mg/L 以上	—	—

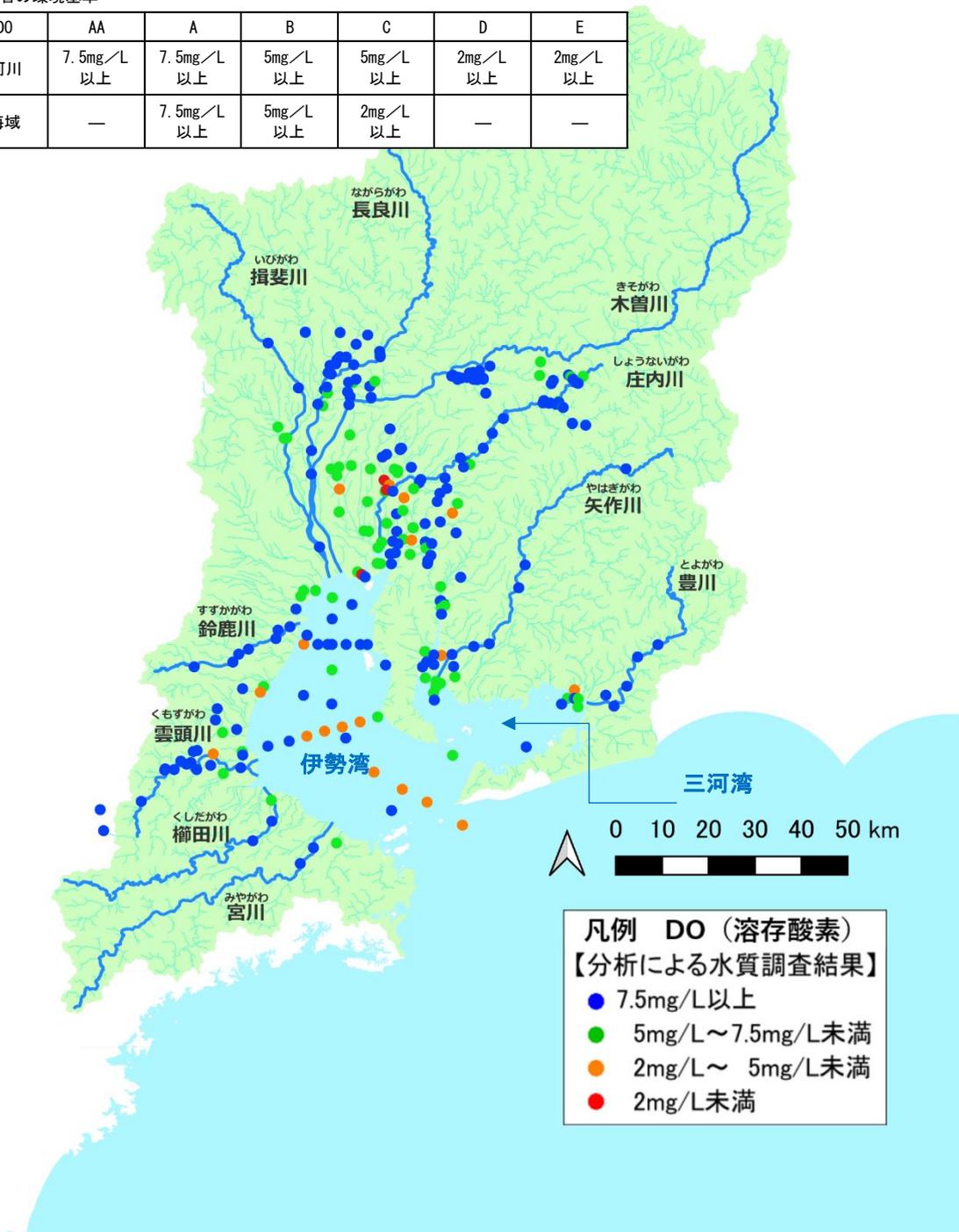


図 4-6 DO(溶存酸素) (分析による水質調査結果)

河川流域圏で 7.5mg/L 以上のところが多くなっています。

海域は海面付近の値を示しています。海域の水深方向の分布については、「伊勢湾の溶存酸素濃度状況（参考）」にてご確認ください。

SS（浮遊物質）

水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。

環境省の環境基準（河川）

類型	AA	A	B	C	D	E
浮遊物質 質量 (SS)	25mg/L 以 下	25mg/L 以 下	25mg/L 以 下	50mg/L 以 下	100mg/L 以 下	ごみ等 の浮遊 が認め られな いこと。



図 4-7 SS(浮遊物質) (分析による水質調査結果)

多くの観測地点は、25mg/L 未満となっており、河川の環境基準 A 類型に適合する水質であるため、水の濁りは少ないといえます。

大腸菌群数

大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。
 水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。

環境省の環境基準

大腸菌群数	AA	A	B	C	D	E
河川	50MPN/ 100mL 以下	1,000MPN/ 100mL 以下	5,000MPN/ 100mL以下	—	—	—
海域	—	1,000MPN/ 100mL以下	—	—	—	—



図 4-8 大腸菌群数(分析による水質調査結果)
 1000MPN/100mL 未満の値となっている地点が多くみられます。

4.2 簡易水質テスト結果

簡易水質テストの参加者の方々には、以下のモニタリング項目について調査していただきました。

<p><一斉モニタリング調査項目></p> <p>水温、COD (化学的酸素要求量)、$\text{NH}_4^+\text{-N}$ (アンモニウム態窒素)、$\text{NO}_2^-\text{-N}$ (亜硝酸態窒素)、$\text{NO}_3^-\text{-N}$ (硝酸態窒素)、$\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ (りん酸態りん)、天気、水のきれいさ (色、にごり、におい)、水の量 (量、速さ)、ごみの状況 (場所、量)、生き物の状況 (種類、量)、植物の状況 (場所、量、種類)</p>

モニタリング調査項目の内、調査地点数が多く、伊勢湾流域圏の水質の汚染状況を示す、COD (化学的酸素要求量)、 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ (アンモニウム態窒素)、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ (亜硝酸態窒素)、 $\text{NO}_3^-\text{-N}$ (硝酸態窒素)、 $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ (りん酸態りん) の結果を図 4-9～図 4-13 に示しました。

また、見た目の水のきれいさと水のごりを 5 段階で示していただいた結果を図 4-14 と図 4-15 に示しました。

表 4-2 簡易水質テストの水質項目

モニタリング調査項目	モニタリング調査項目が示すもの
① COD (化学的酸素要求量)	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
② $\text{NH}_4^+\text{-N}$ (アンモニウム態窒素)	窒素はりんと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの発生原因となります。 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つであり、濃度が高い場合、生活排水や工場排水、あるいは田畑から肥料分が流れて出ていると考えられます。
③ $\text{NO}_2^-\text{-N}$ (亜硝酸態窒素)	$\text{NO}_2^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つであり生物の栄養素となります。不安定な物質ですが、pH 等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなることがあります。
④ $\text{NO}_3^-\text{-N}$ (硝酸態窒素)	$\text{NO}_3^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つであり生物の栄養素となります。きれいな水は $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の割合が高くなります。ただし、 $\text{NO}_3^-\text{-N}$ が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ と $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の合計が 10mg/L 以下に設定されています。
⑤ $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ (りん酸態りん)	$\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ は、りんの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸などにより供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれます。海水や湖沼水中に $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ が増加すると、赤潮などの発生原因となります。

COD (化学的酸素要求量)

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。

環境省の環境基準 (海域)

類型	A	B	C
COD	2mg/L 以下	3mg/L 以下	8mg/L 以下



図 4-9 COD(化学的酸素要求量) (簡易水質テスト結果)

人口が密集する市街地を流れる庄内川では、5mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

NH₄⁺-N（アンモニウム態窒素）

窒素はりとんで並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。NH₄⁺-Nは、窒素の主な形態の一つです。濃度が高い場合、生活排水や工場排水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。



図 4-10 NH₄⁺-N(アンモニウム態窒素) (簡易水質テスト結果)

流域圏全体で 0.2mg/L~0.5mg/L のところが多くなっています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、NH₄⁺-N (アンモニウム態窒素) が高くなっていると考えられます。流域全体としては 0.5mg/L 未満の割合は 6~8 割程度であり、比較的良好であるといえます。

NO₂⁻-N (亜硝酸態窒素)

NO₂⁻-Nは、窒素の主な形態の一つであり生物にとっての栄養素となります。不安定な物質ですが、pH等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなることがあります。



図 4-11 NO₂⁻-N(亜硝酸態窒素) (簡易水質テスト結果)

流域圏全体で、0.007mg/L以上のところが多くなっています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、NO₂⁻-N(亜硝酸態窒素)濃度が高くなっていると考えられます。

0.007mg/L未満の比較的良好な水質が占める割合は、3~4割程度となっています。

NO₃⁻-N (硝酸態窒素)

NO₃⁻-N は、窒素の主な形態の一つであり生物にとっての栄養素となります。きれいな水は NO₃⁻-N の割合が高くなります。ただし、NO₃⁻-N が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、NO₂⁻-N と NO₃⁻-N の合計が 10mg/L 以下と設定されています。

窒素のうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。



図 4-12 NO₃⁻-N (硝酸態窒素) (簡易水質テスト結果)

一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、NO₃⁻-N (硝酸態窒素) 濃度が高くなっていると考えられます。1.2mg/L 未満の比較的良好な水質の占める割合は、8 割程度となっています。

PO₄³⁻-P (りん酸態りん)

PO₄³⁻-P は、りんの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、海水や湖沼水中に PO₄³⁻-P が増加すると、赤潮などの汚濁原因となります。

りんのうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。



図 4-13 PO₄³⁻-P(りん酸態りん) (簡易水質テスト結果)

一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、PO₄³⁻-P (りん酸態りん) 濃度が高くなっていると考えられます。0.11mg/L 未満の比較的良好な水質の占める割合は、7割程度となっています。

見た目の水のきれいさ

一斉モニタリング調査を実施したときの水のきれいさについて、5段階（悪い）1・2・3・4・5（良い）で評価しています。

一斉モニタリング調査をした方が感じた調査地点の水の印象を示す指標です。



図 4-14 見た目の水のきれいさ

市街地を流れる庄内川の一部や、三河湾湾奥部でも3以上の比較的水がきれいという評価がされています。

また、一部の観測地点において、1、2の比較悪い評価が見られますが、庄内川などの市街地付近でも4～5の評価などきれいな水の評価がみられます。

見た目の水のにごり

一斉モニタリング調査を実施したときの水のにごりについて、5段階（（良い）1 澄んでいる・2 中間・3 少し濁っている・4 中間・5 とても濁っている（悪い））で評価しています。
調査をした方が感じた調査地点の水の印象を示す指標です。



図 4-15 見た目の水のにごり

多くの地点で1、2の値となっています。木曽川などの大きな河川では、見た目の水は、濁っていく傾向にあると考えられます。

4.3 アンケート結果の経年変化

簡易水質テストの他に、参加していただいた団体に、調査地点に関するアンケートに回答して頂いております。アンケートの項目は、下記のとおりです。

平成 21 年度から行われているアンケート結果の経年的な変化を次頁以降に整理しました。

- 水のきれいさ：色、にごり、におい
- 水量：量、速さ
- ごみ状況：川面・海面、水際
- 生物：生き物の種類、魚の量、種類（魚を含む）
- 植物：周辺、水際、種類

(1) 水のきれいさ

令和5年度は、令和4年度と比較して水のきれいさ（1 青色、2 水色の合計）に大きな変化はありませんでした。

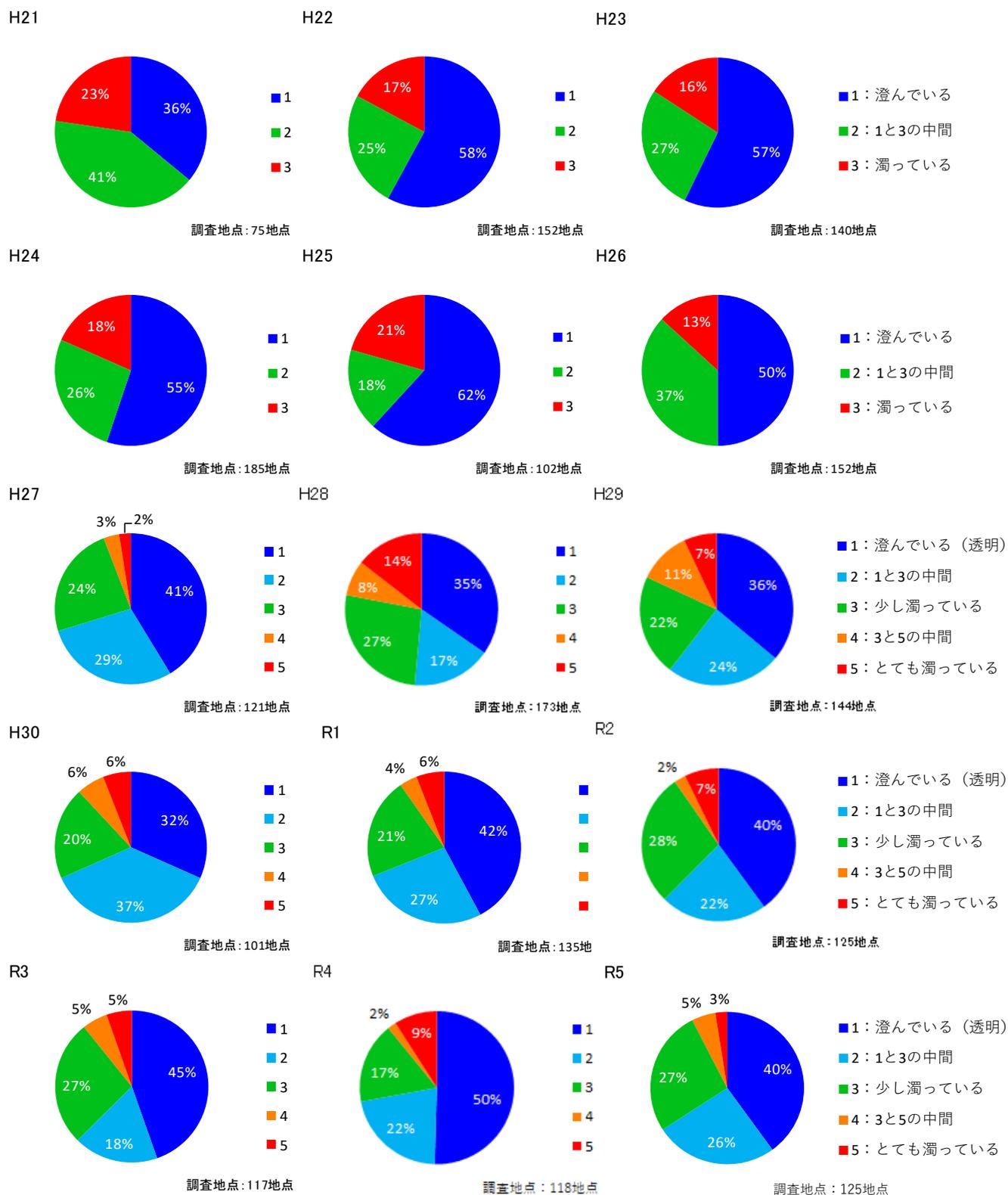


図 4-16 アンケート結果(水のきれいさ)

※H21～H26 は3段階評価、H27以降は5段階評価
 ※数値を丸め込んでいるため、見かけ上100%となっていない場合があります。

(2) 水量

令和 5 年度は、令和 4 年度と比較して水量の多いと普通の間（2 水色）地点の割合が減少しました。

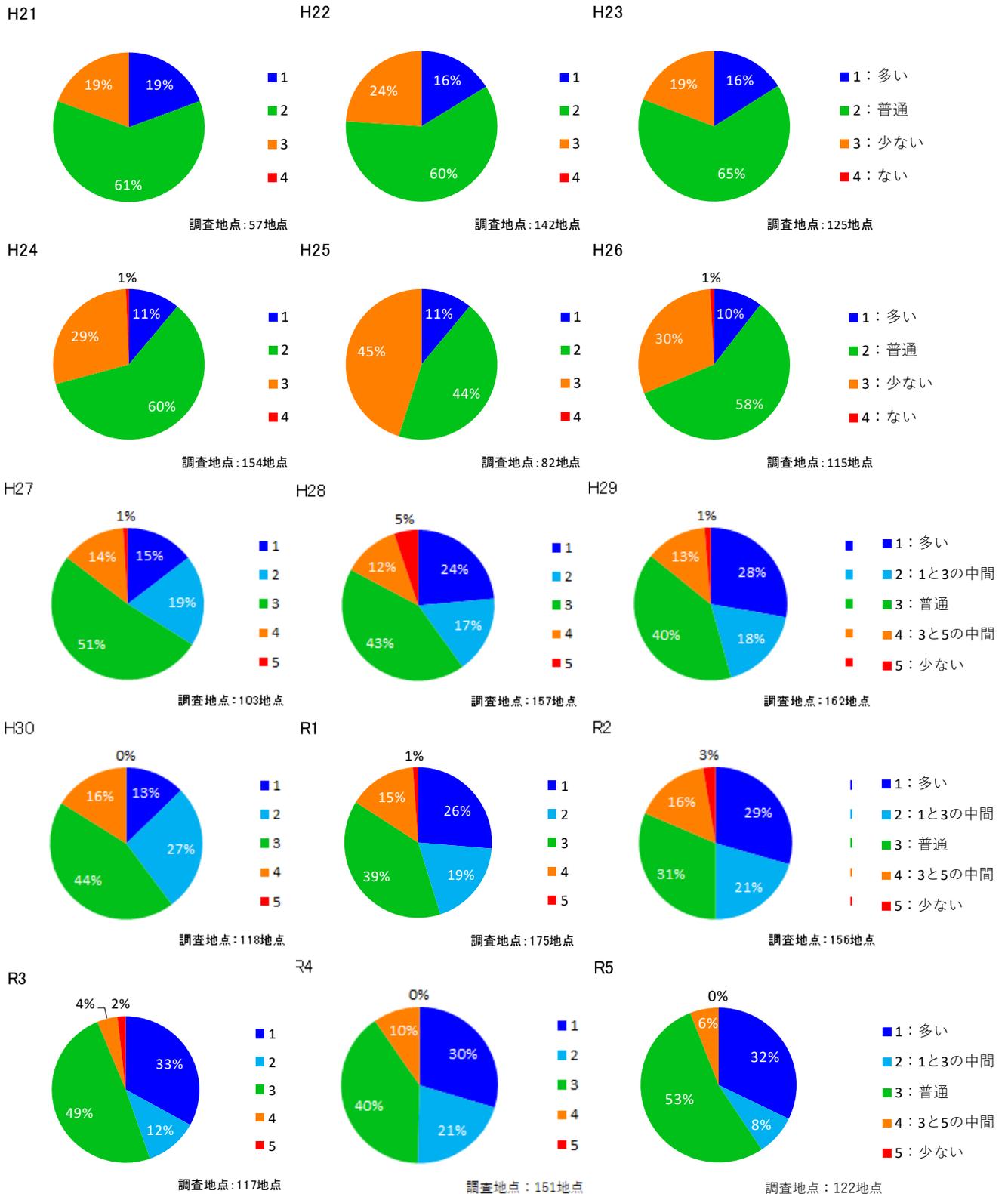


図 4-17 アンケート結果(水量)

※H21～H26 は 4 段階評価、H27 以降は 5 段階評価
 ※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(3) ごみ状況（水面）

令和5年度は、令和4年度と比較してごみ状況に大きな変化はありませんでした。

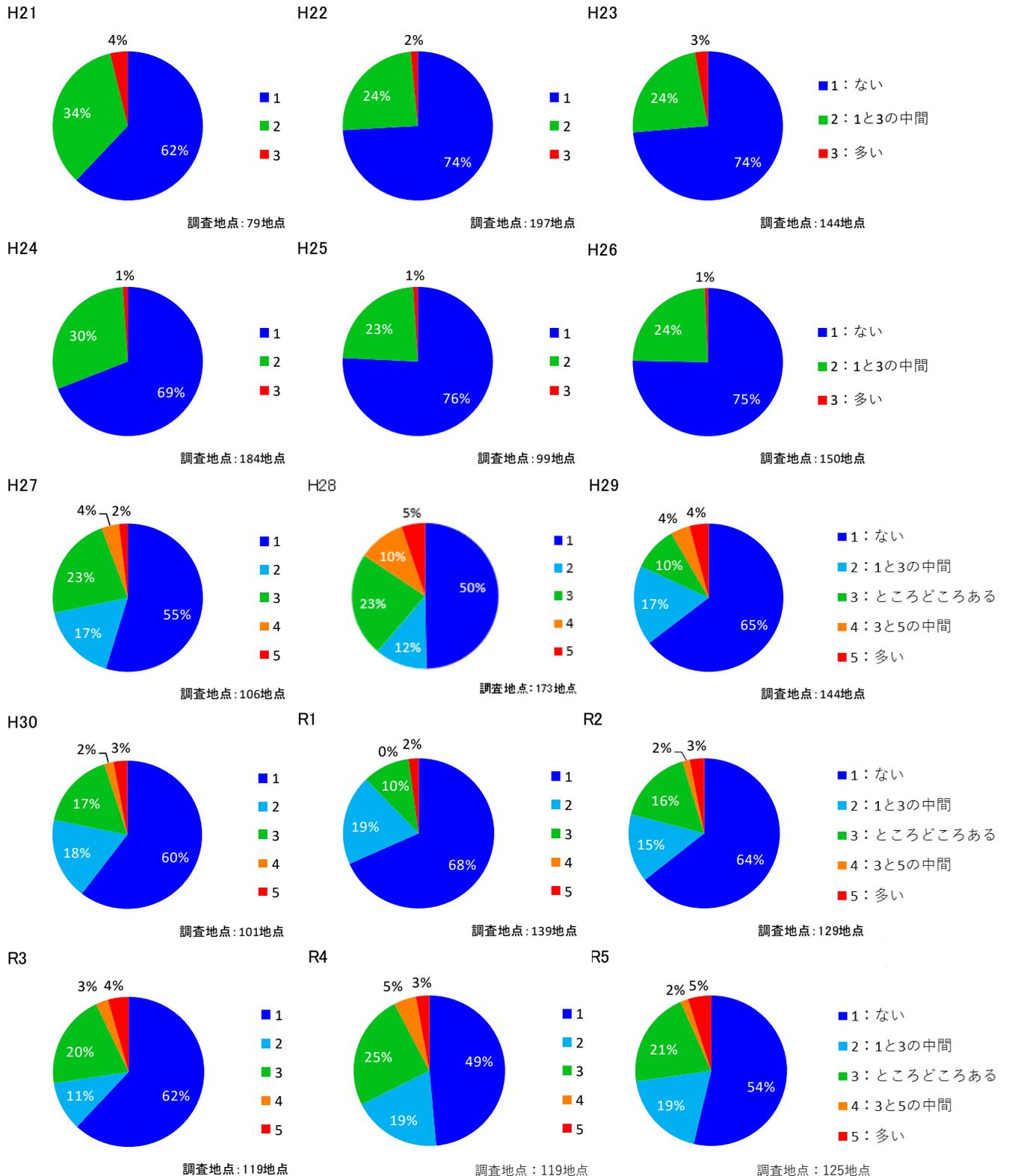


図 4-18 アンケート結果(ごみ状況(水面))

※H21～H26 は 3 段階評価、H27 以降は 5 段階評価
 ※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(4) ごみ状況 (周辺)

令和5年度は、令和4年度と比較してごみがない状況 (1 青色) の割合がやや増加しました。

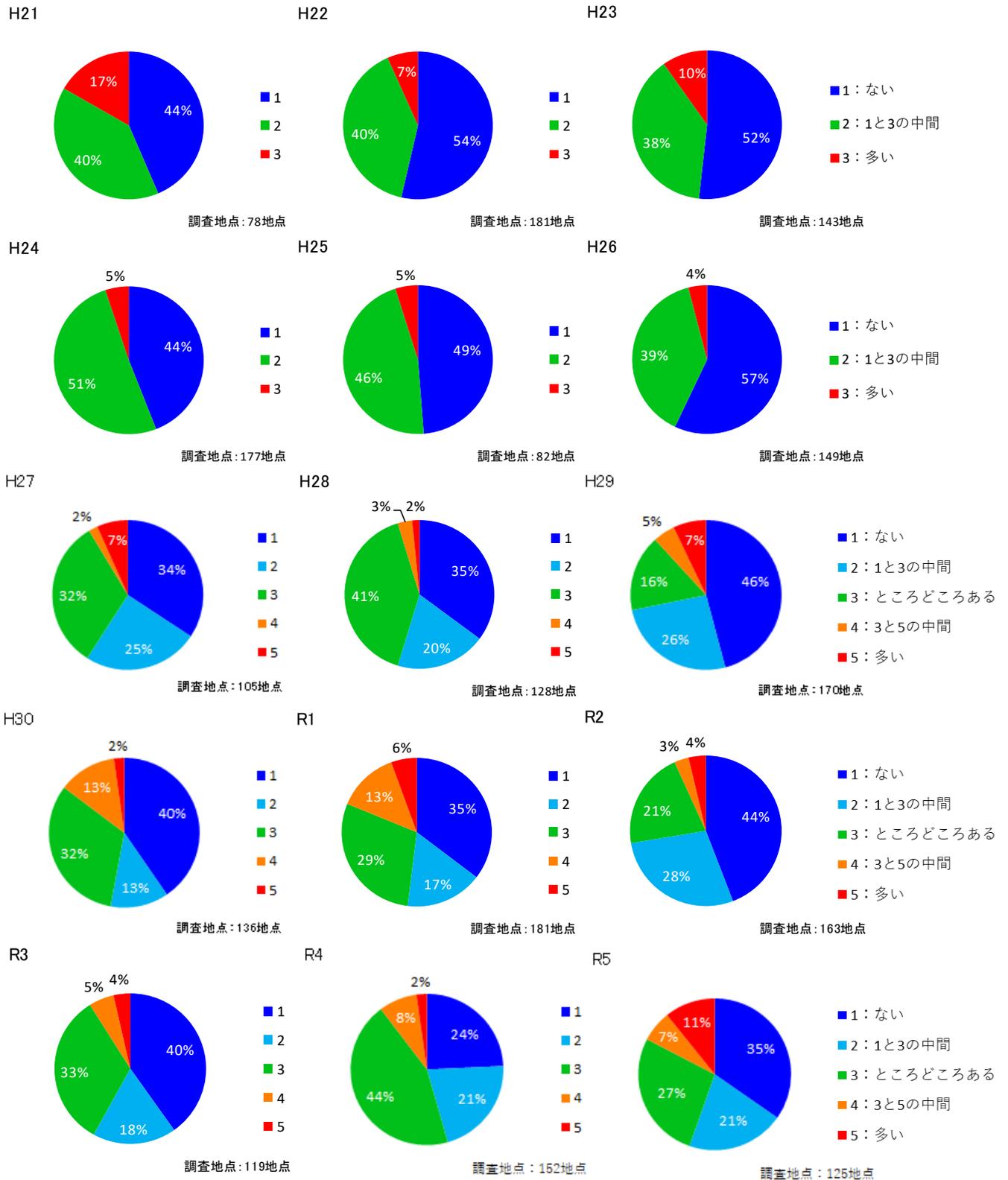


図 4-19 アンケート結果(ごみ状況(周辺))

※H21～H26 は3段階評価、H27以降は5段階評価
 ※数値を丸め込んでいるため、見かけ上100%となっていない場合があります。

(5) 生物

令和5年度は、生物がない（5 赤色）の割合が大きく増加しました。

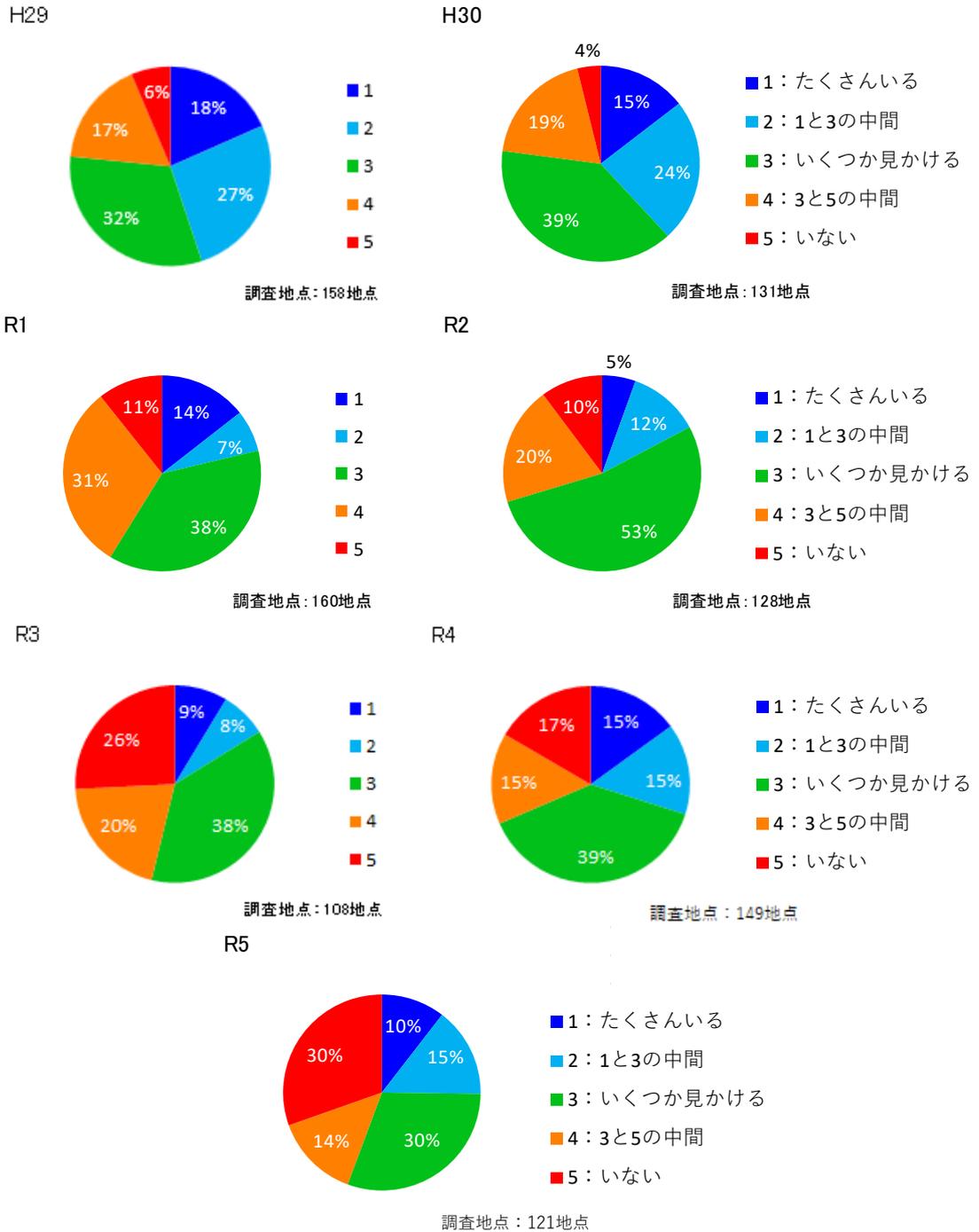


図 4-20 アンケート結果(生物)

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(6) 植物（周辺）

令和5年度は、令和4年度と比較して植物（周辺）に大きな変化はありませんでした。

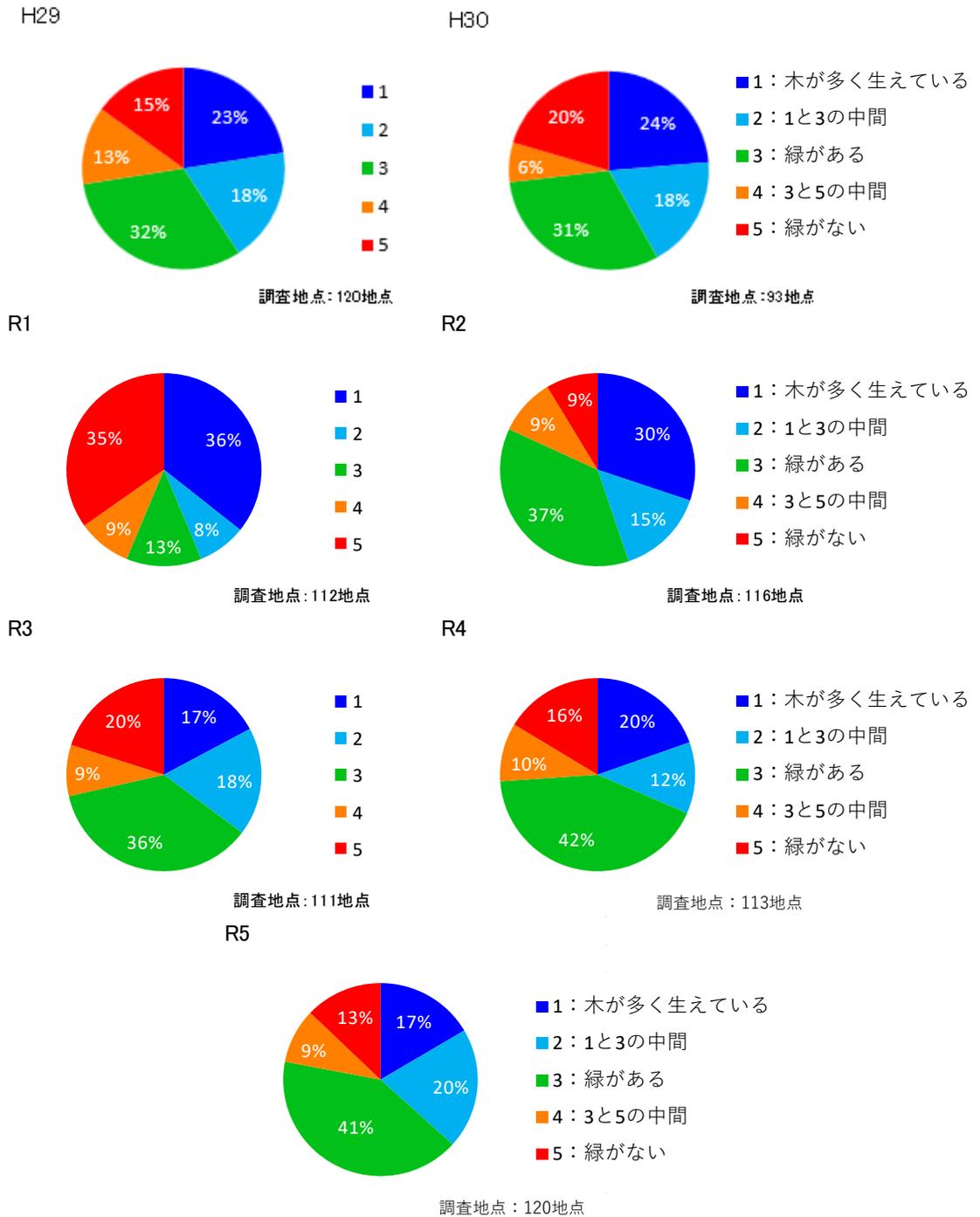


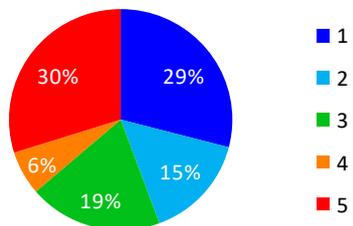
図 4-21 アンケート結果(植物(周辺))

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上100%となっていない場合があります。

(7) 植物（水際）

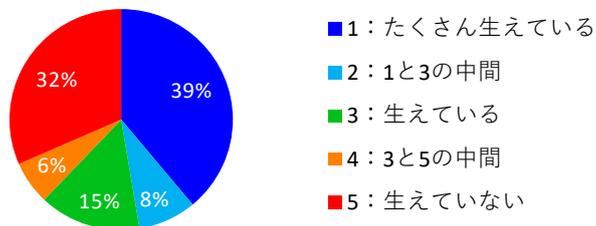
令和5年度は、令和4年度と比較して植物（水際）に大きな変化はありませんでした。

H29



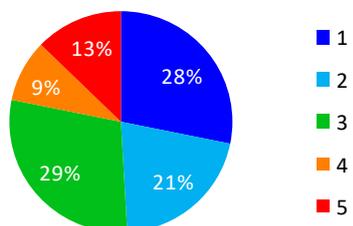
調査地点: 124地点

H30



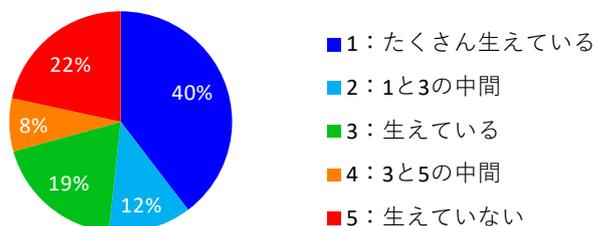
調査地点: 95地点

R1



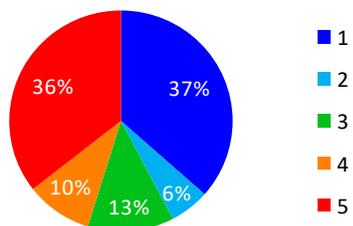
調査地点: 110地点

R2



調査地点: 116地点

R3



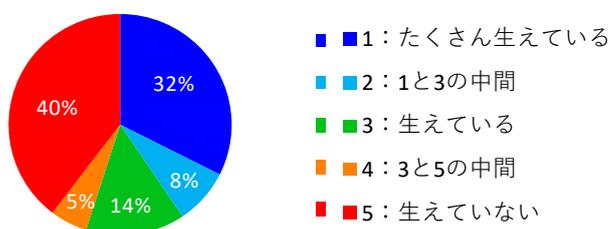
調査地点: 111地点

R4



調査地点: 115地点

R5



調査地点: 121地点

図 4-22 アンケート結果(植物(水際))

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(8) 水の色 of 平成 21、令和元年度～令和 5 年度の比較

令和 5 年度は陸域では無色の水の色 of 回答数 (1 青色、2 水色の合計) of 割合に大きな変化はありませんでした。

また、海域については水の色 of 回答が大きく変化しているものの、平成 21 年度と比べると明らかな改善傾向となっています。

① 陸域の水の色

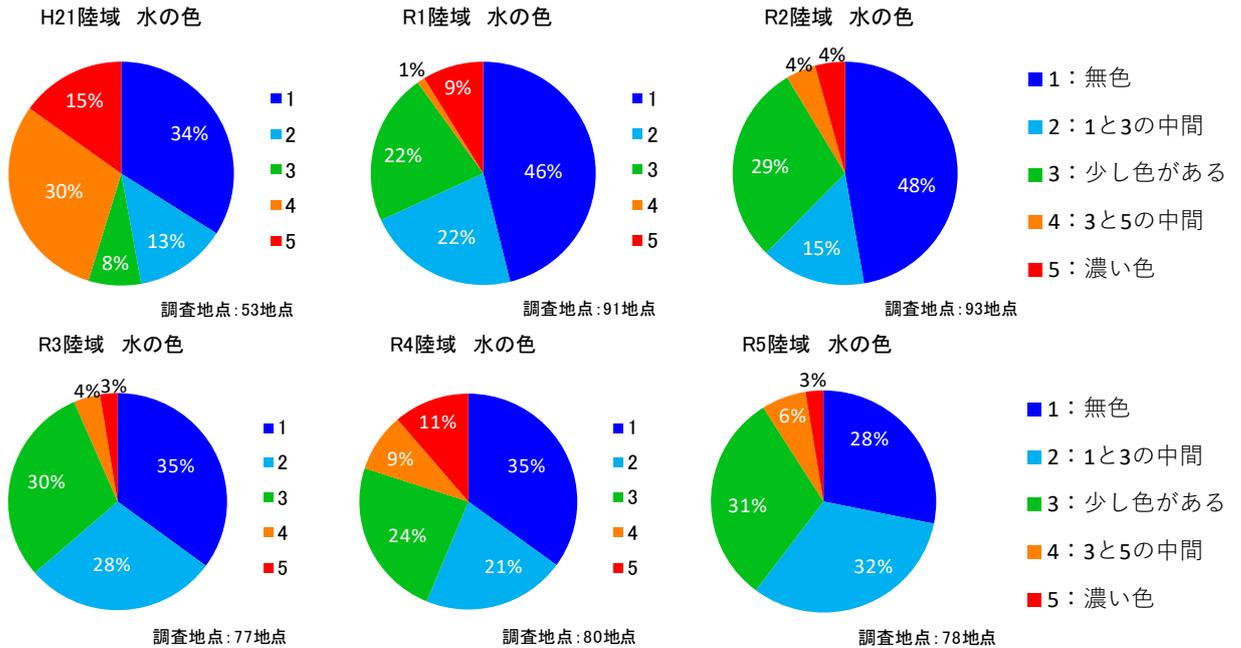


図 4-23 アンケート結果(陸域の水の色)

② 海域の水の色

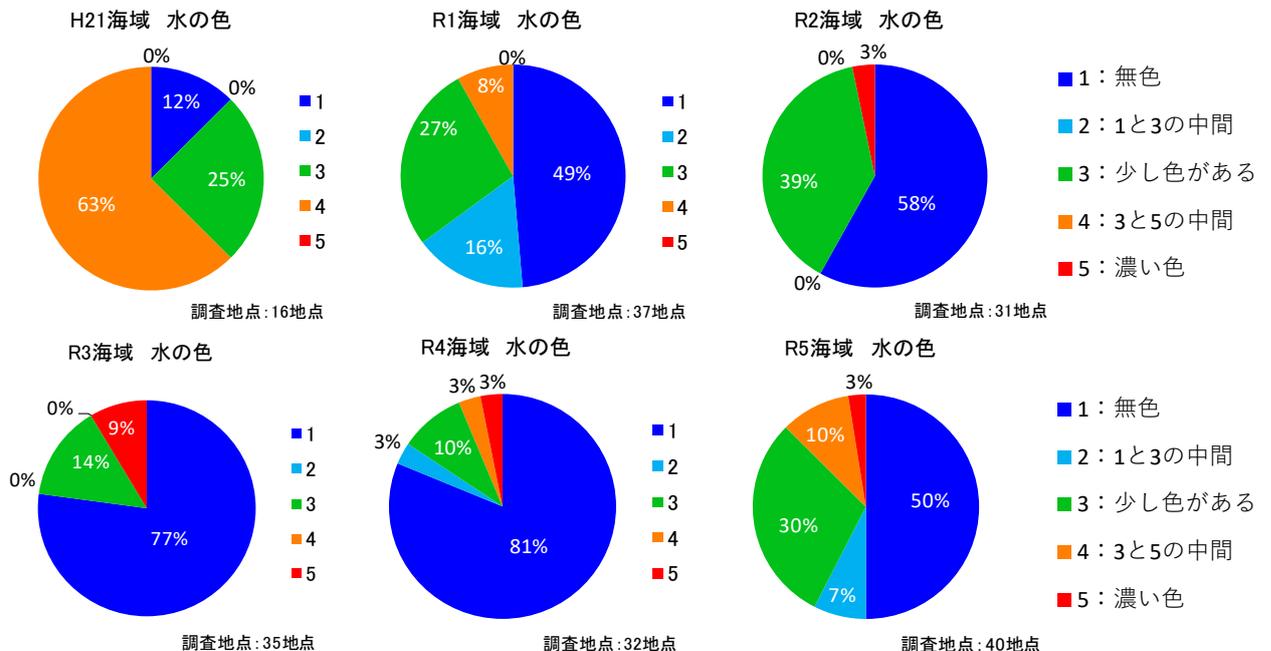


図 4-24 アンケート結果(海域の水の色)

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

③ 流域全体の水の色の変化

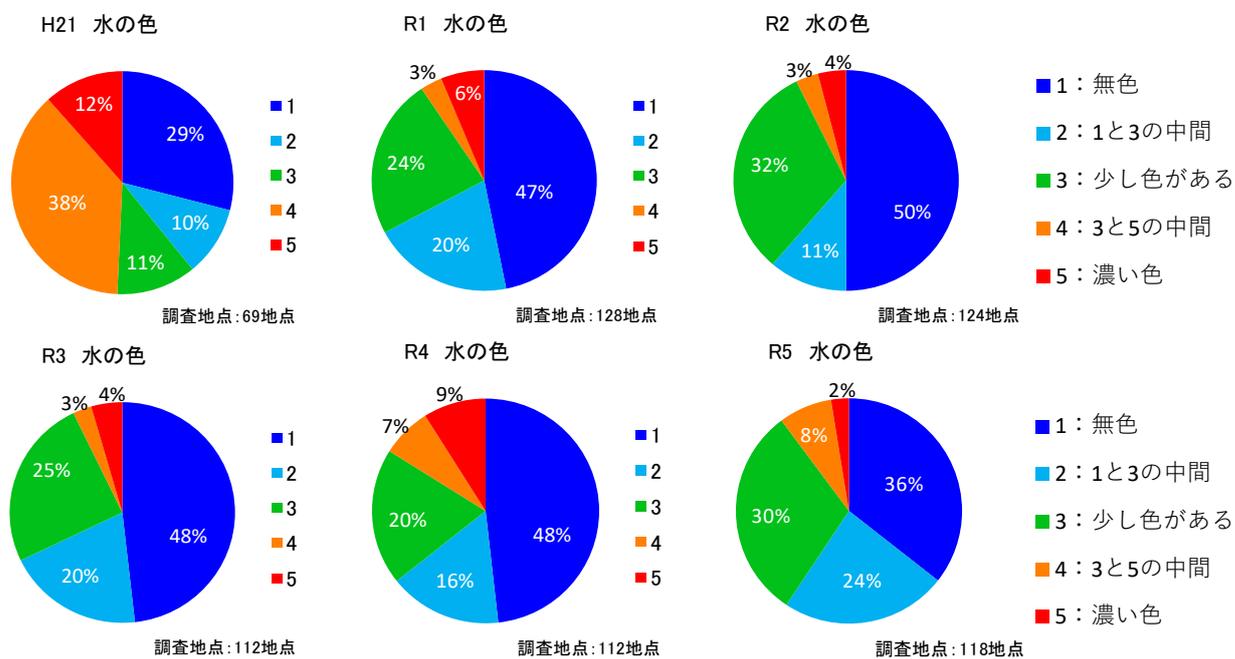


図 4-25 アンケート結果(流域全体の水の色)

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(9) 水際のごみの平成 21、令和元年度～令和 5 年度の比較

令和 5 年度は陸域の水際ではごみがないの回答（1 青色）の割合がやや増加しています。
 また、海域の水際ではごみが多いの回答（5 赤色）の割合が増加し、流域全体としても、ごみが多いの回答（赤色）の割合が増加しています。

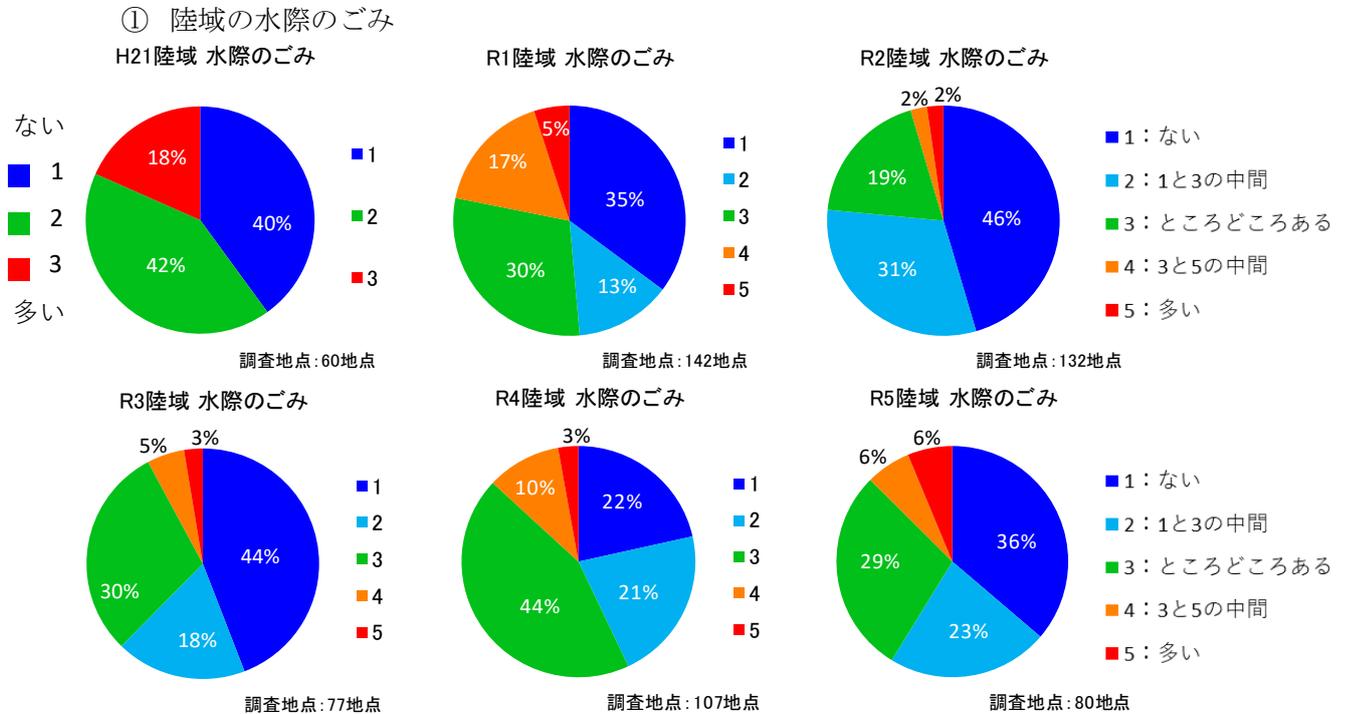


図 4-26 アンケート結果(陸域の水際のごみ)

※H21 は 3 段階評価

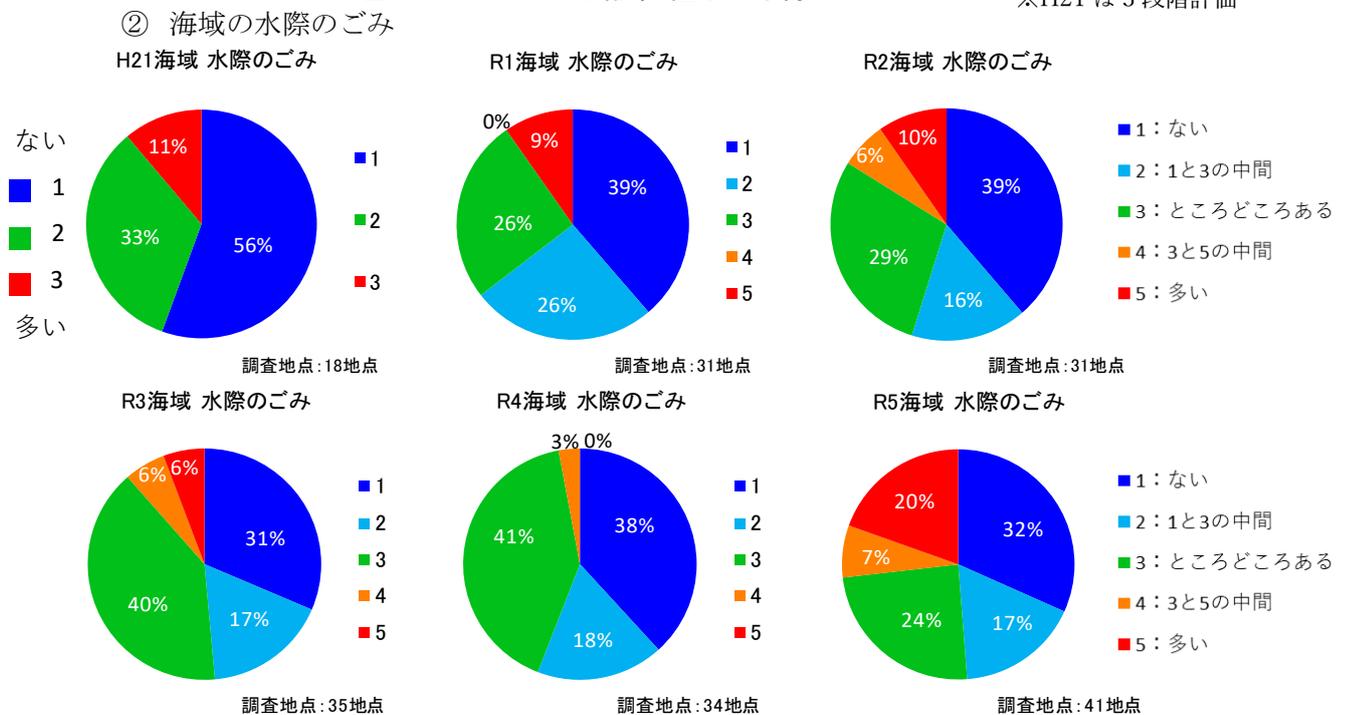


図 4-27 アンケート結果(海域の水際のごみ)

※H21 は 3 段階評価

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

③ 流域全体の水際のごみの割合の変化

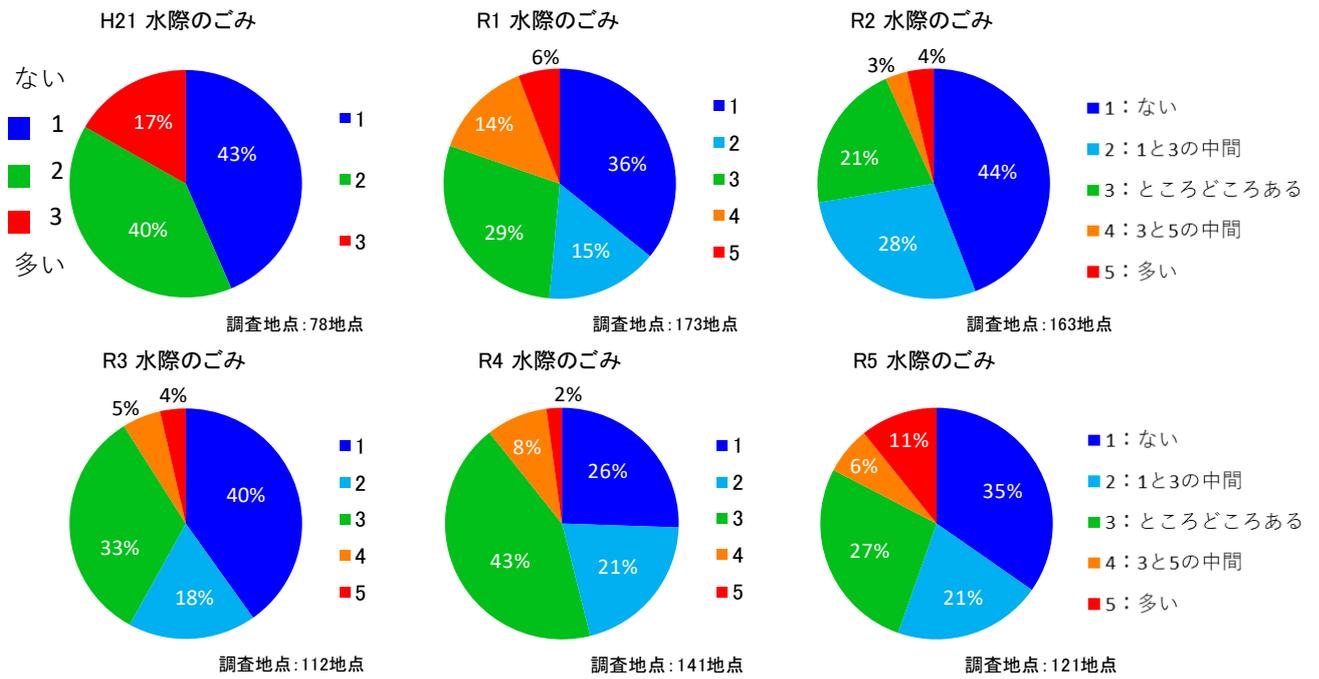


図 4-28 アンケート結果(流域全体の水際のごみの変化の割合)

※H21 は 3 段階評価

※数値を丸め込んでいるため、見かけ上 100%となっていない場合があります。

(10) 令和元年度～令和5年度の見た目の水のきれいさとCODの関係

見た目の水きれいさとCODの値には相関があると考えられます。

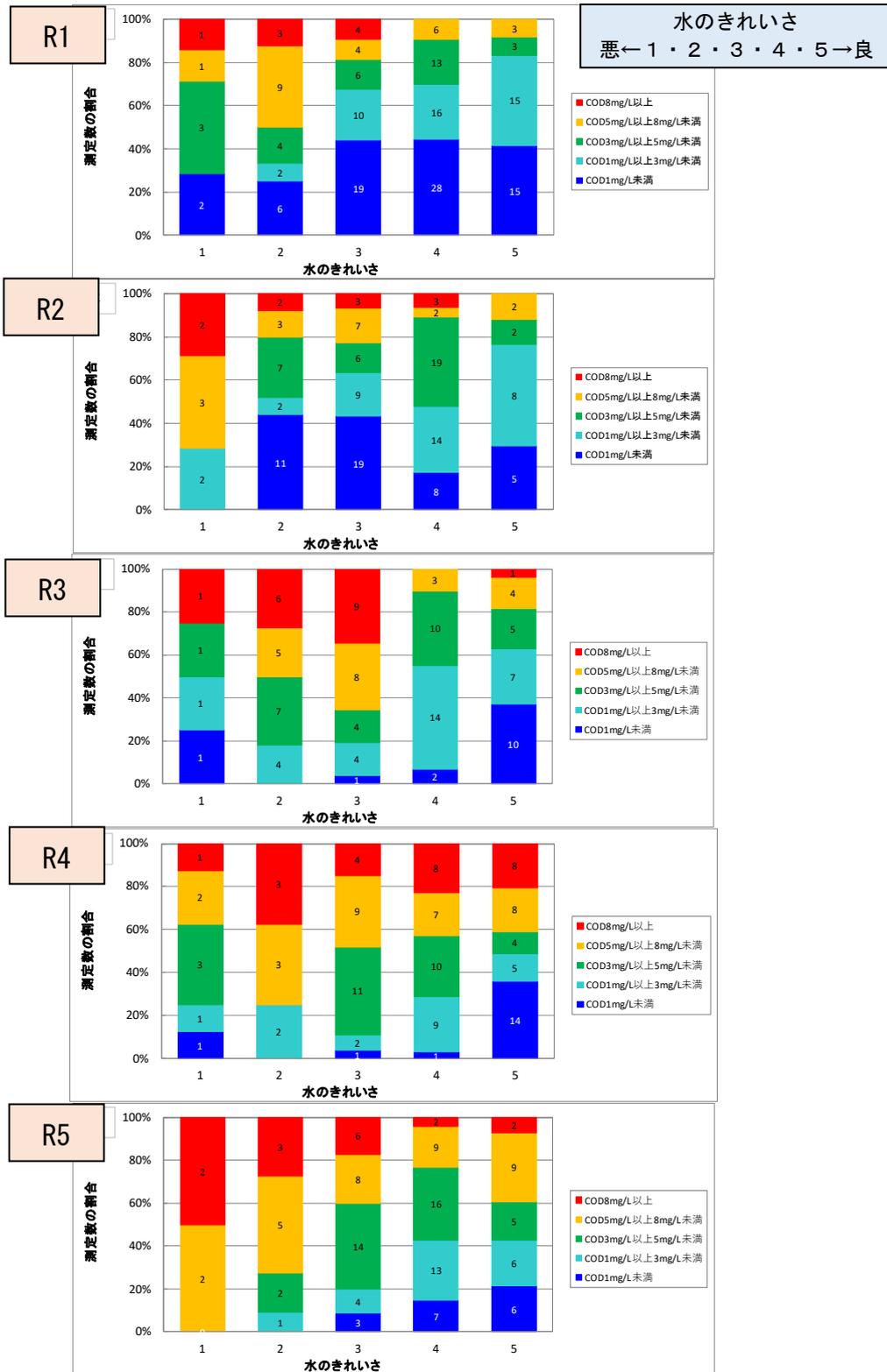


図 4-29 アンケート結果(水のきれいさとCODの関係)

5. 参考資料 1 一斉モニタリング期間気象・海象状況

一斉モニタリング期間（令和 5 年 7 月 1 日～8 月 31 日）の図 5-1 に示す観測所の気象・海象状況を図 5-2、図 5-3 に示します。なお。

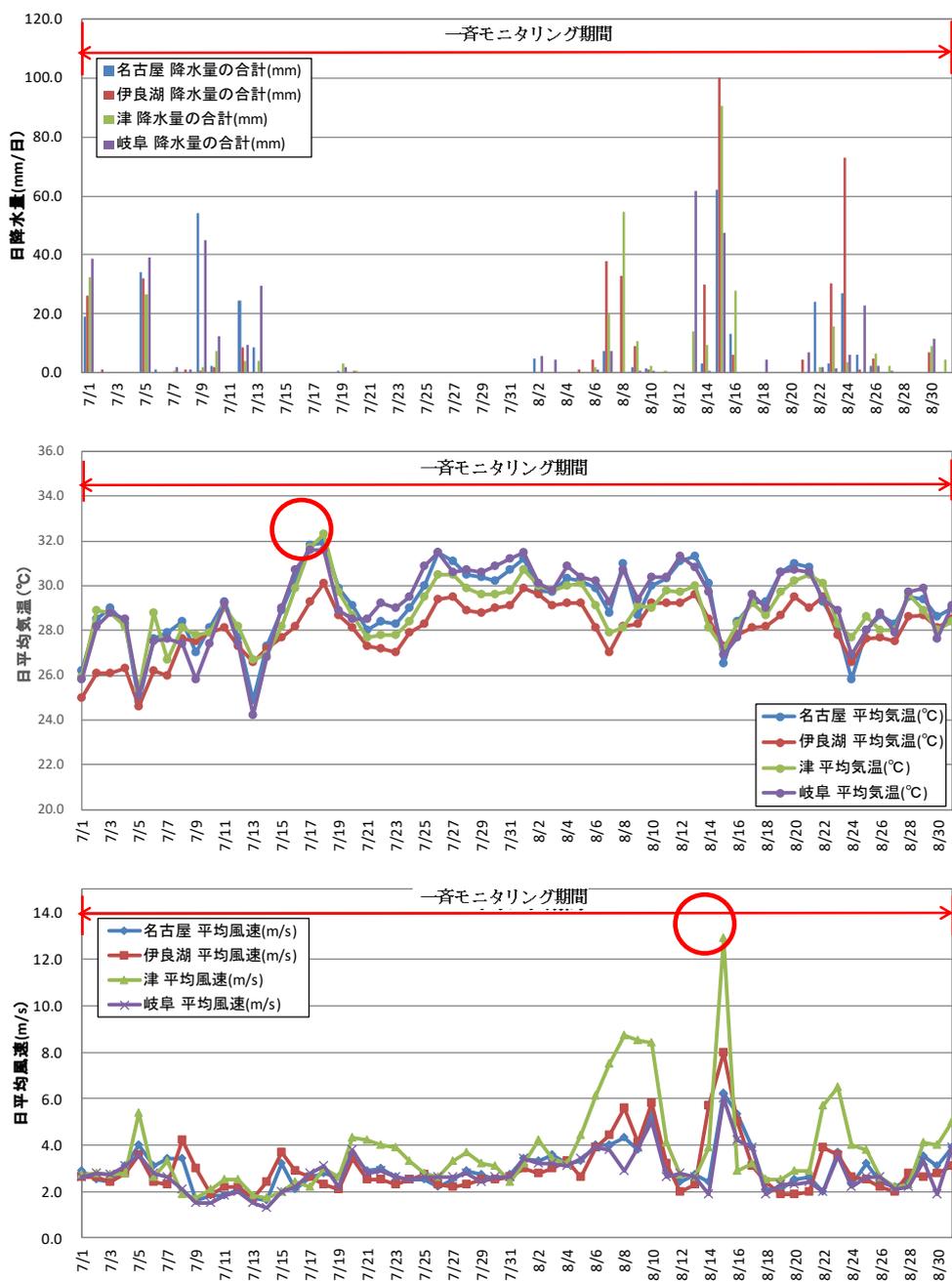
一斉モニタリング期間中、7 月中の雨が少なかったため、一斉モニタリングの水質等に影響した可能性があります。また、8 月中旬に局所的な大雨を記録しています。

一斉モニタリング期間中の平均気温は 28.8℃で、最高気温は、7 月 18 日に津で観測された 32.3℃でした。

日平均風速は、8 月の変動が大きくなっています。最大の平均風速は、8 月 15 日に津で観測された 12.9m/s でした。



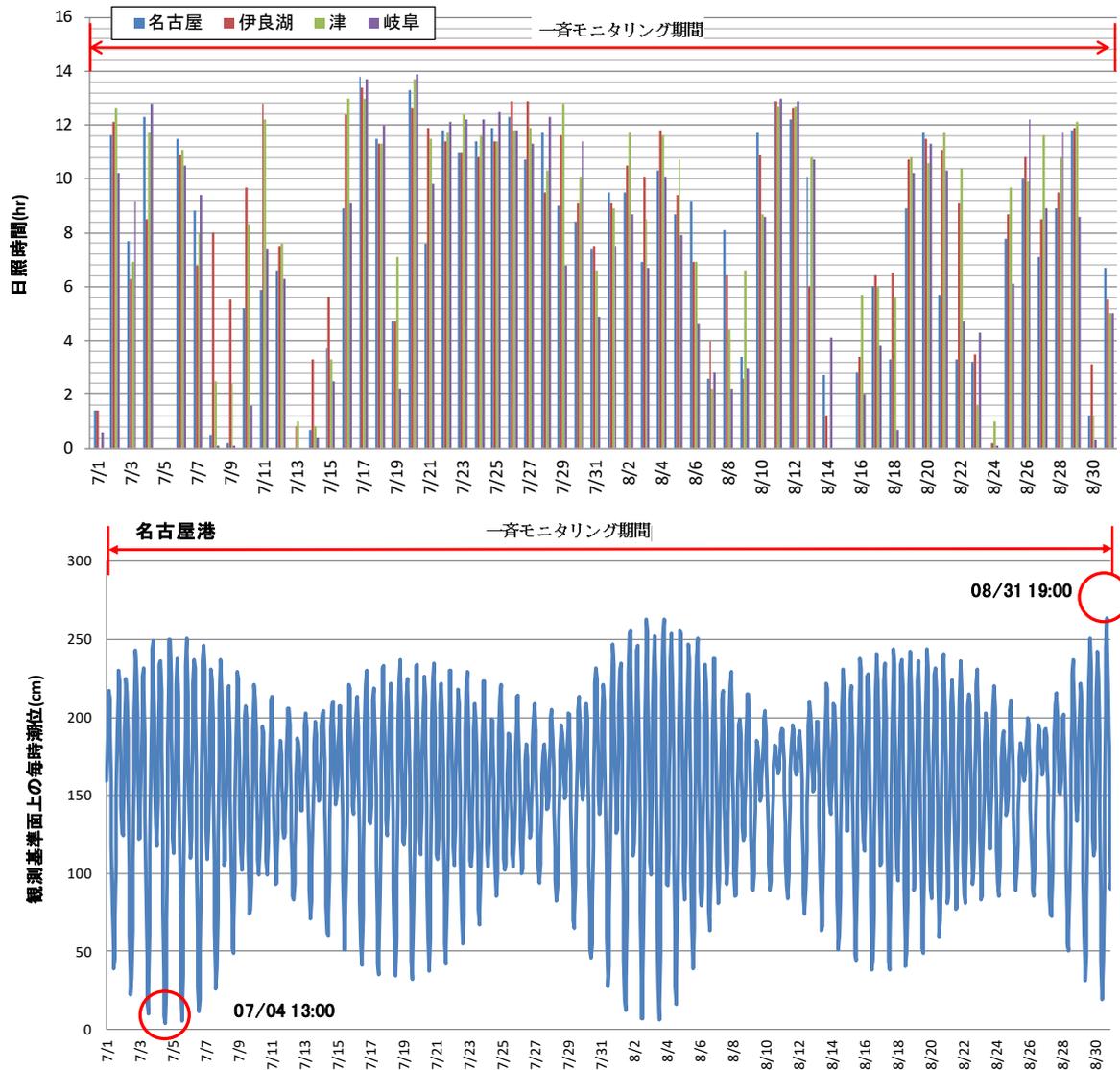
図 5-1 気象・海象観測位置(赤色の地点と地名は気象観測位置、緑色の地点と地名は潮位観測位置)



気象庁のデータから作成
 図 5-2 令和 5 年度一斉モニタリング期間の気象・海象状況① (降水量・気温・風速)

日照時間の平均は7.7時間程度でした。日照時間の最長は、7月20日の岐阜で13.9時間でした。

名古屋港の観測潮位について、7月～8月の最低潮位は7月4日13時に4cm、最高潮位は、8月31日19時に268cmとなっています。



気象庁のデータから作成

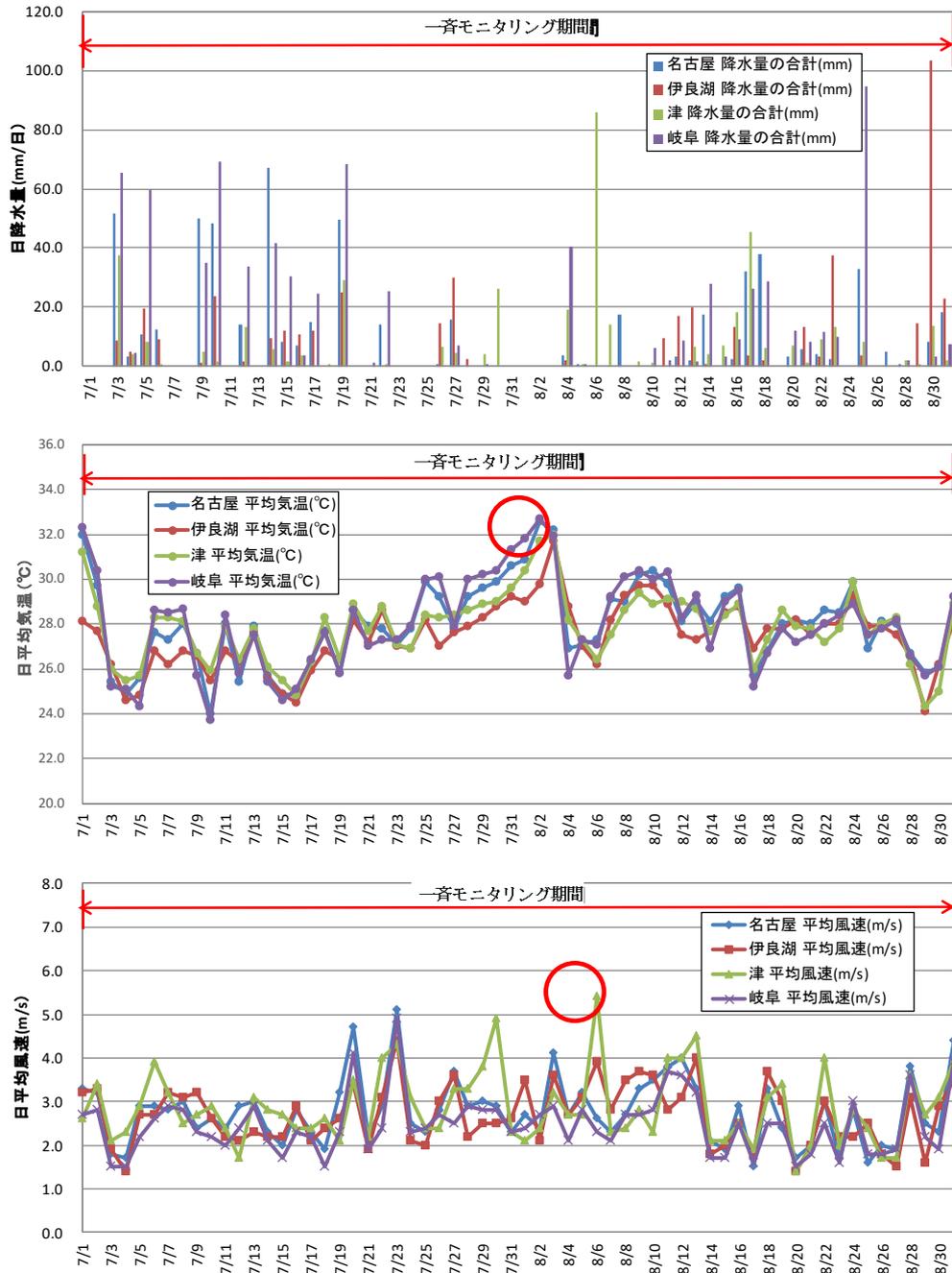
図 5-3 令和5年度一斉モニタリング期間の気象・海象状況②(日照時間・潮位)

【参考】令和4年度の気象状況

令和4年度の一斉モニタリング期間中、梅雨明けが遅れ、7月中の雨が多かったため、一斉モニタリングの水質等に影響した可能性があります。また、8月下旬にも局所的な大雨を記録していました。

令和4年度の一斉モニタリング期間中の平均気温は27.8℃で、最高気温は8月2日に岐阜で観測された32.7℃でした。

日平均風速は、8月の変動が大きくなっています。最大の平均風速は、8月6日に津で観測された5.4m/sでした。

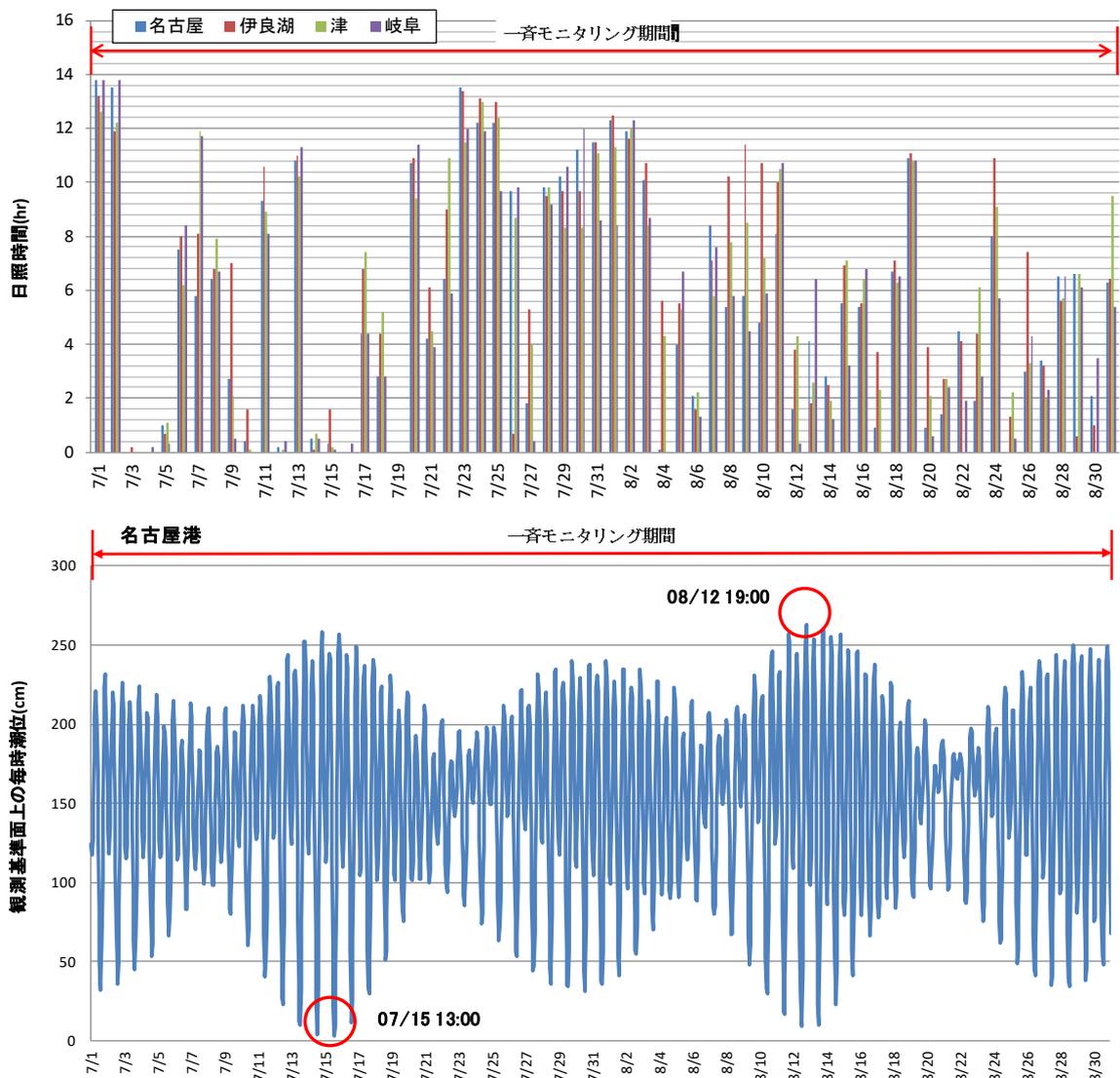


気象庁のデータから作成

図 5-4 令和4年度一斉モニタリング期間の気象・海象状況①(降水量・気温・風速)

日照時間の平均は 5.9 時間程度でした。日照時間の最大は、7 月 1 日の名古屋と岐阜で 13.8 時間でした。

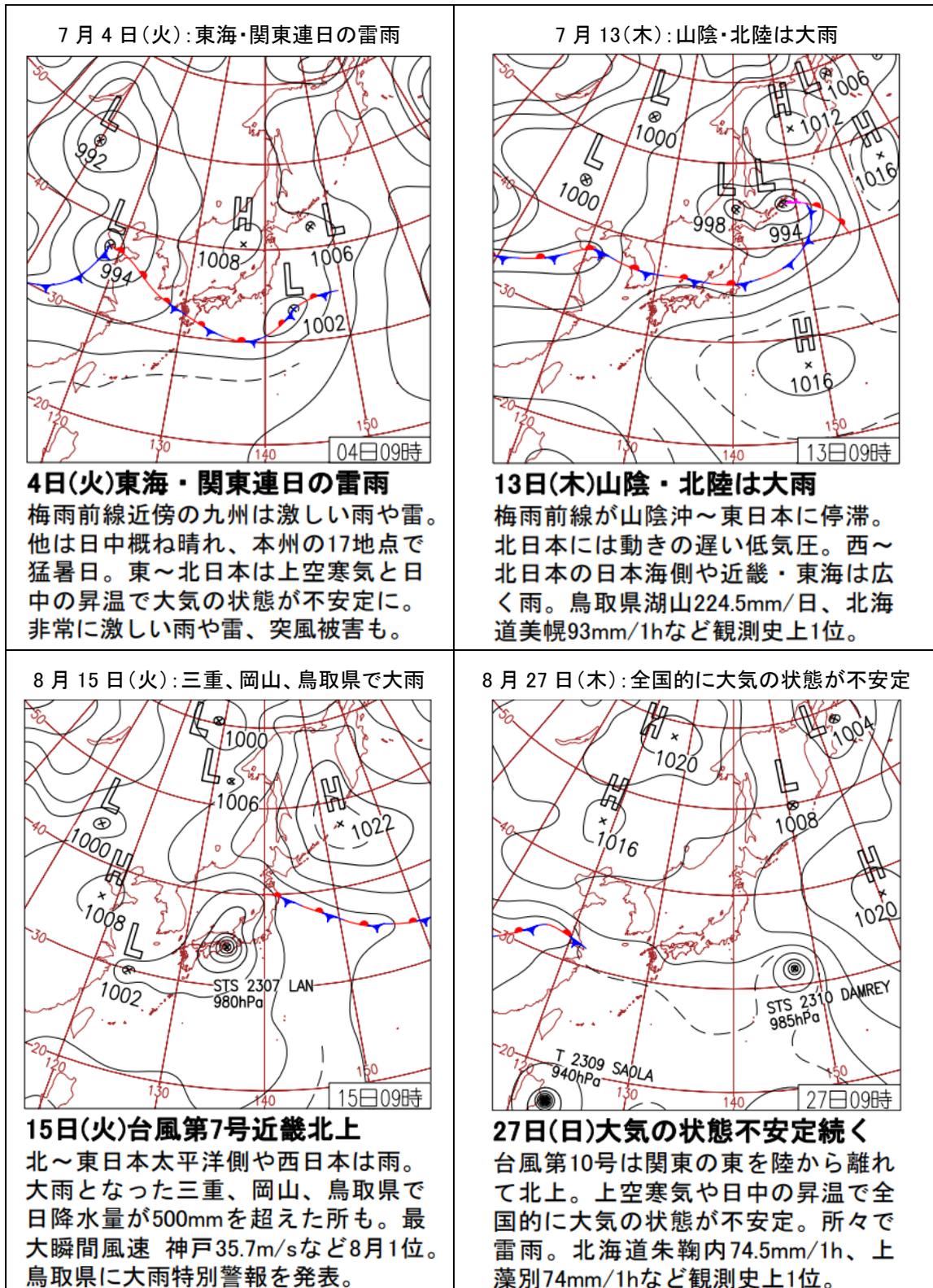
名古屋港の観測潮位について、7 月～8 月の最低潮位は 7 月 15 日 13 時に 3cm、最高潮位は、8 月 12 日 19 時に 263cm となっています。



気象庁のデータから作成

図 5-5 令和 4 年度 一斉モニタリング期間の気象・海象状況②(日照時間・潮位)

一斉モニタリング中の主な天気図を図 5-6 に示します。7月4日に雷雨を記録したものの、7月中の雨量は少なくなっています。しかし、8月中旬に台風7号の接近により大雨となりました。



気象庁ホームページより

図 5-6 一斉モニタリング期間の主な天気図

参考資料 2 定点モニタリングの結果

地点により値の大小はありますが、定点モニタリングにより身近な河川や海辺等で経年的に水質調査を行い、水質の変動を観測していくことが大切だと考えられます。

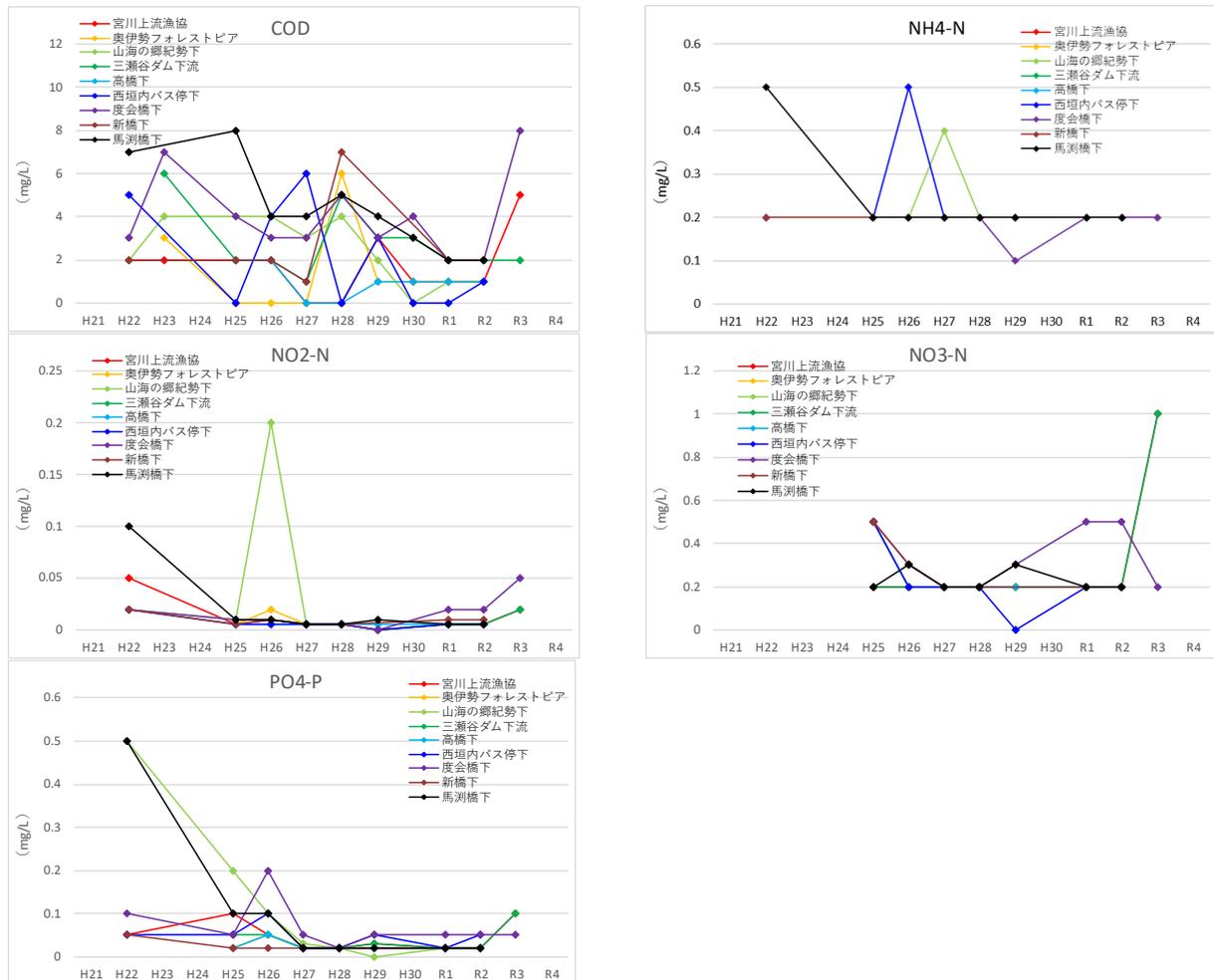


図 6-1 伊勢市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

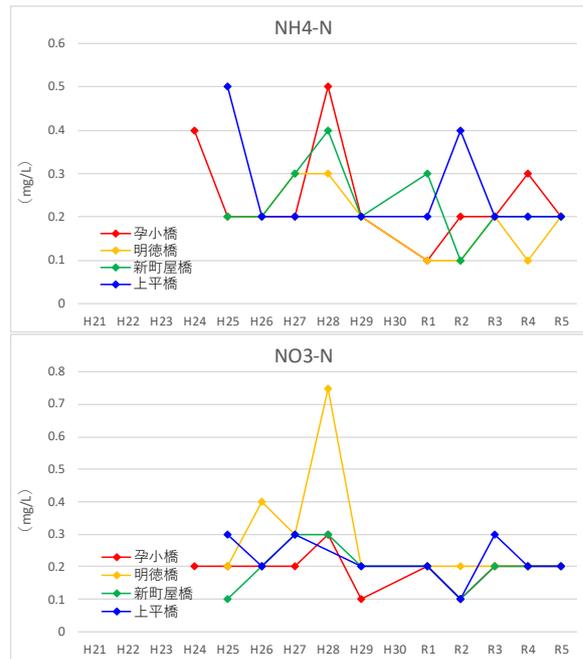
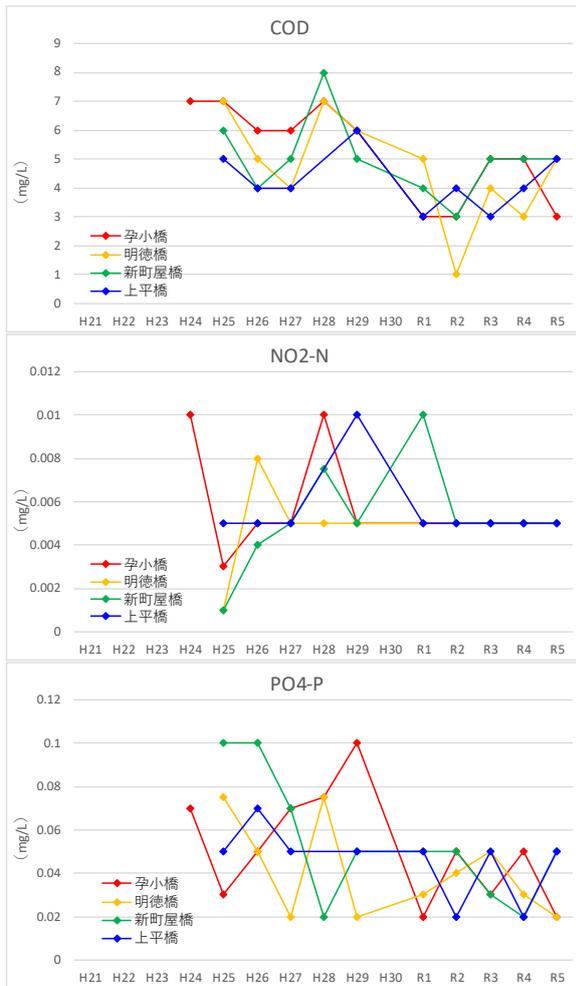


図 6-2 瑞浪市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

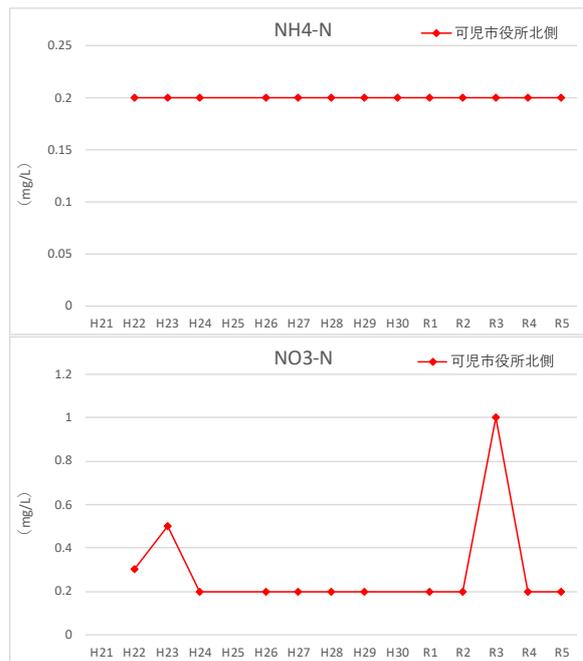
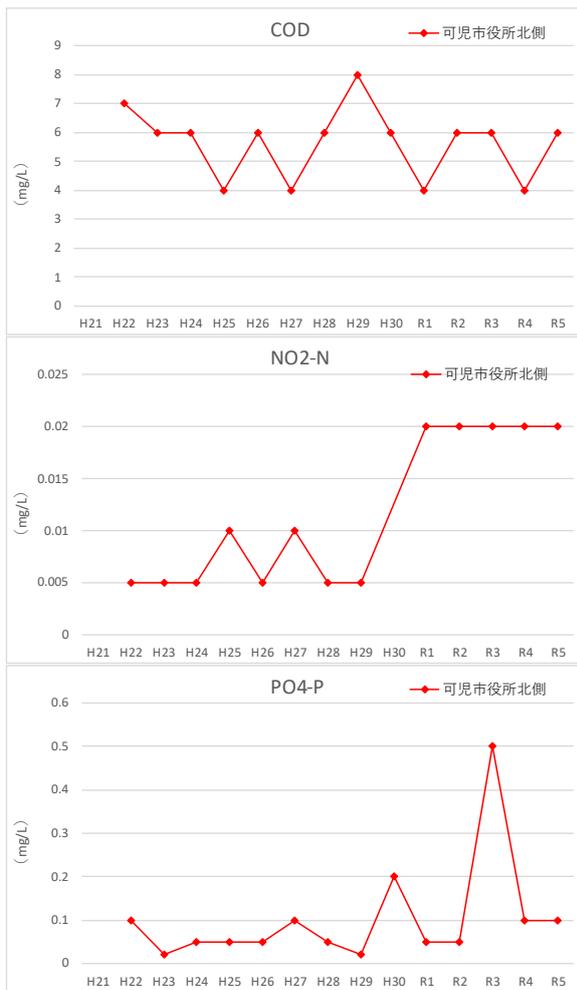


図 6-3 可児市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

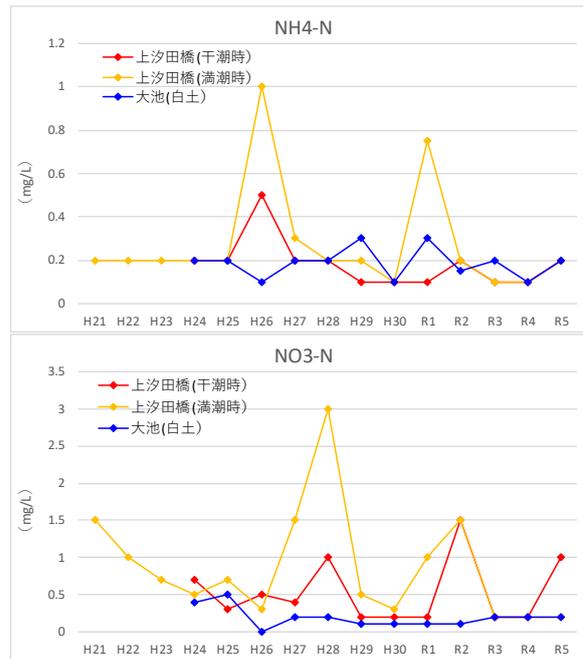
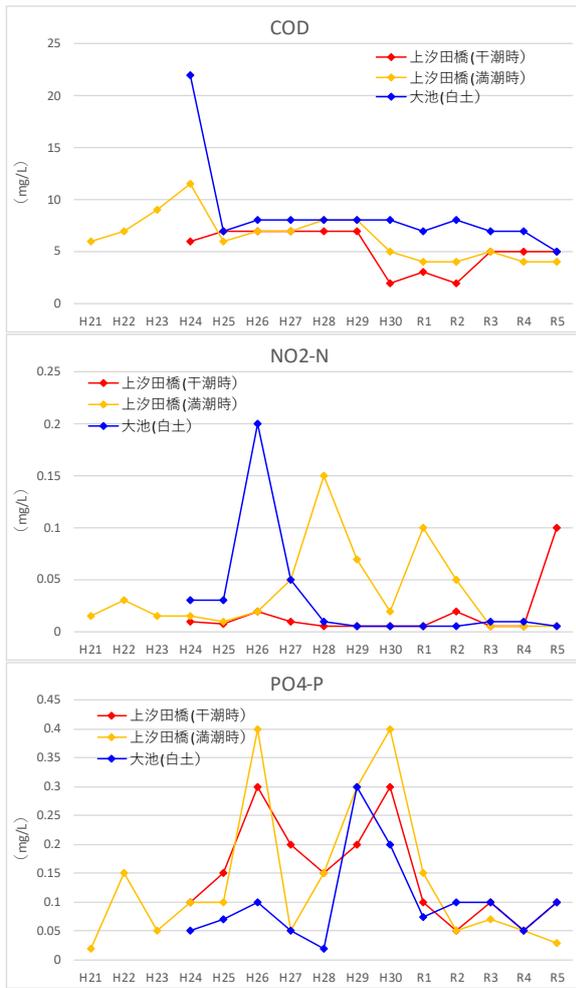


図 6-4 名古屋市周辺の定点における水質調査結果の経年変化



図 6-5 名古屋市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

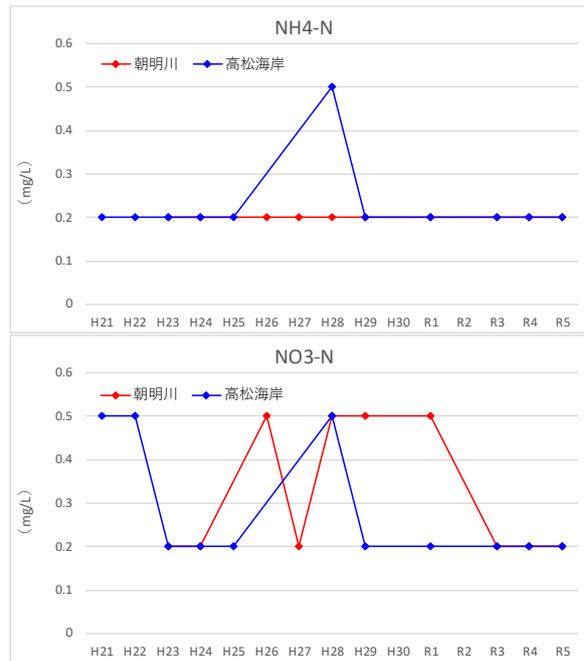
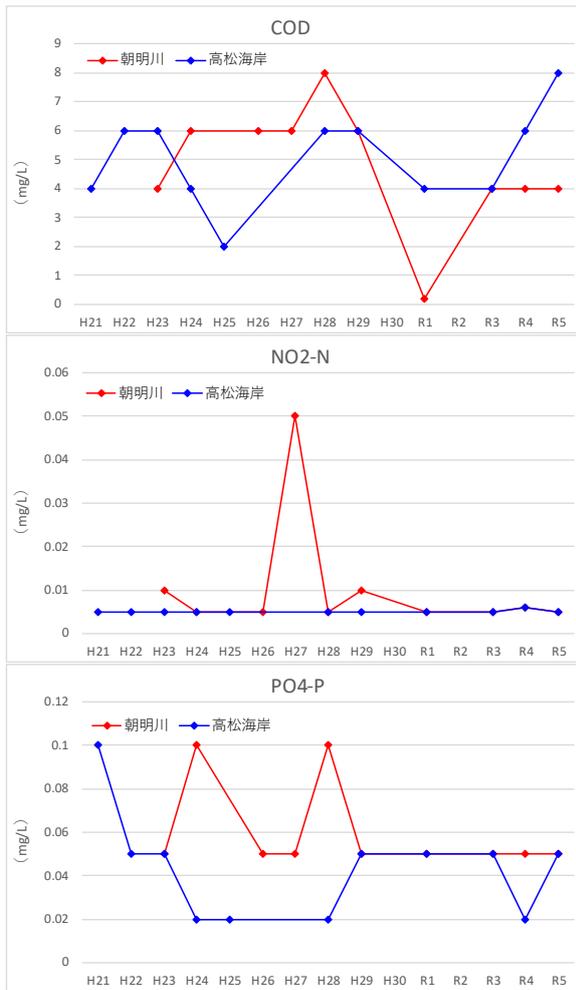


図 6-6 三重郡川越町周辺の定点における水質調査結果の経年変化

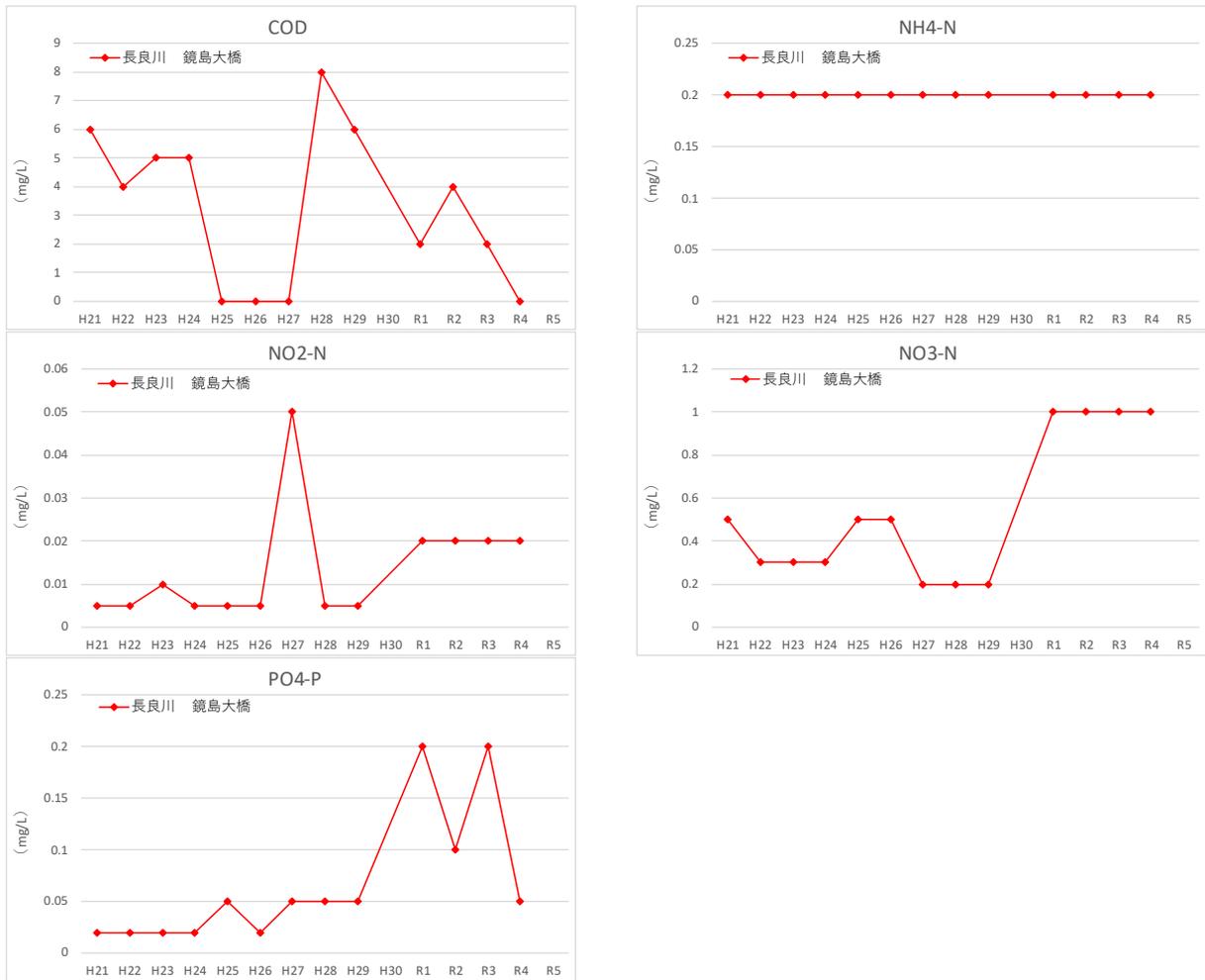


図 6-7 岐阜市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

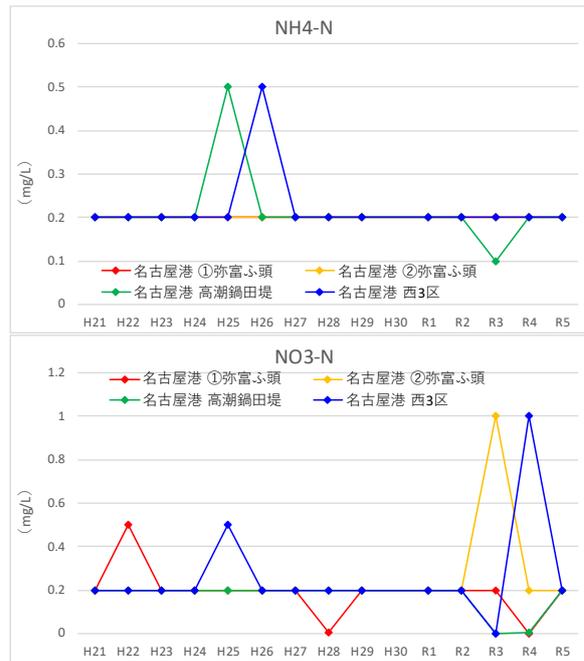
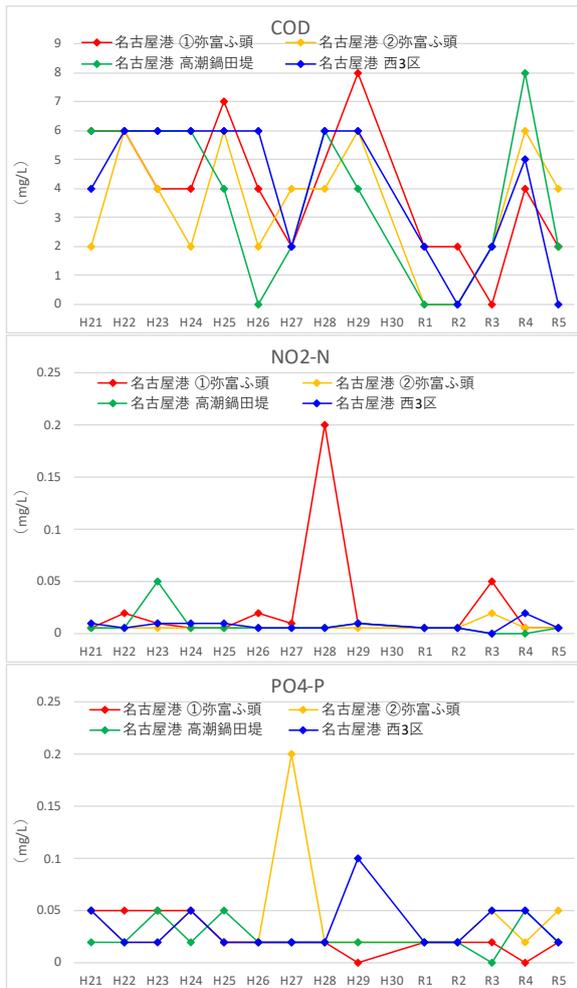


図 6-8 弥富市周辺の定点における水質調査結果の経年変化

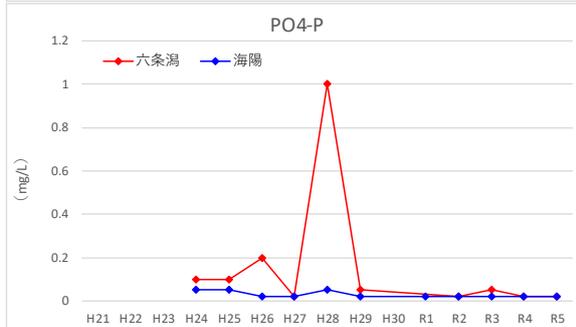
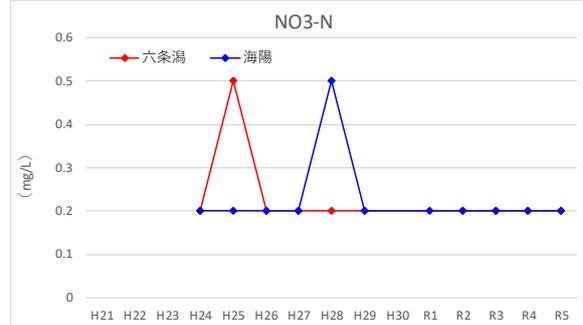
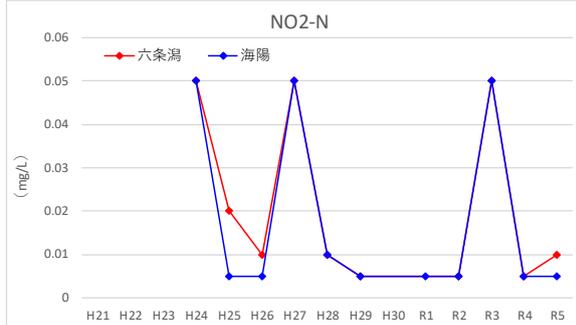
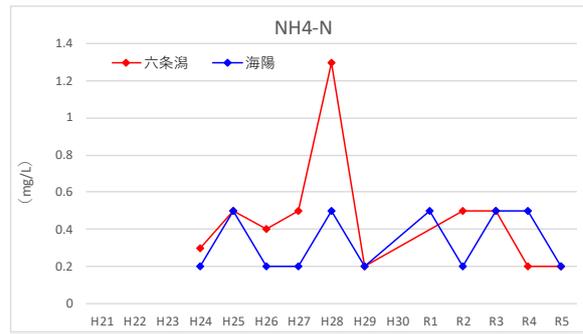
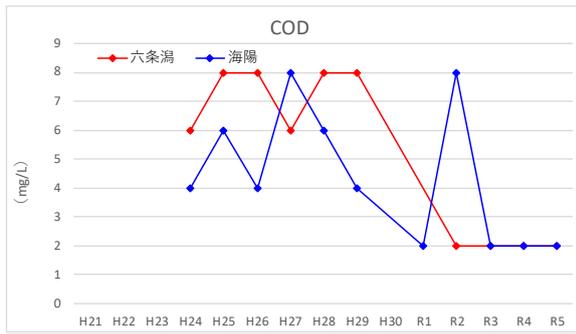


図 6-9 豊橋市周辺の定点における水質調査結果の経年変化